

(様式第10)

厚生労働大臣 殿
開設者名 国立大学法人 長崎大学長
永安 武
令和 6 年 10 月 5 日
番 長大病総第0526 号

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒852-8521 長崎県長崎市文教町1番14号
氏名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

長崎大学病院

3 所在の場所

〒852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7番1号
電話(095) 819 - 7200

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		<input type="radio"/>		11リウマチ科
診療実績							
内分泌内科及び代謝内科については、内分泌・代謝内科で対応している。 アレルギー疾患については、皮膚科等で対応している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
乳腺外科及び内分泌外科については、乳腺・内分泌外科で対応している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科		6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	泌尿器科・腎移植外科	2	内分泌・代謝内科	3	乳腺・内分泌外科	4	肝胆膵外科・肝移植外科	5	リハビリテーション科
6	形成外科	7	脳神経内科	8	胃・食道外科	9	病理診断科	10	移植外科
11	大腸・肛門外科	12	臨床検査科	13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
39	2	6	0	827	874

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	594	9.9	603.9
歯科医師	124	12.2	136.2
薬剤師	65	0	65
保健師	0	0	0
助産師	46	0	46
看護師	919	11.8	930.8
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	16	0	16
管理栄養士	14	0	14

職種	員数
看護補助者	62
理学療法士	26
作業療法士	10
視能訓練士	10
義肢装具士	0
臨床工学士	30
栄養士	2
歯科技工士	5
診療放射線技師	47

職種	員数
診療エックス線技師	0
臨床検査技師	86
臨床検査 衛生検査技師	0
その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0
医療社会事業従事者	13
その他の技術員	45
事務職員	372
その他の職員	6

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	91	眼科専門医	13
外科専門医	54	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	8	放射線科専門医	11
小児科専門医	27	脳神経外科専門医	11
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	21
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	28
産婦人科専門医	15	救急科専門医	13
		合計	324

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (尾崎 誠) 任命年月日 令和 6 年 4 月 1 日

- ・安全管理部部长・安全担当副病院長(平成30年4月~12月)
- ・医療安全管理委員会(医療安全に関する委員会)委員長(令和6年4月1日~)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	610.4 人	12.6 人	623 人
1日当たり平均外来患者数	1257.1 人	347.8 人	1604.9 人
1日当たり平均調剤数	2970.01		剤
必要医師数	139.155		人
必要歯科医師数	18.965		人
必要薬剤師数	37.125		人
必要(准)看護師数	369.697		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	405.55 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	20 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 498.2 m ² [移動式の場合] 台数		病床数	50 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 136.1 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	243.6 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動生化学分析装置、血液ガス分析装置、全自動糖分析装置、自動グリコヘモグロビン分析計、全自動キャピラリー電気泳動装置、全自動免疫分析装置、全自動血液凝固測定装置、多項目自動血球分析装置、塗抹標本作成装置等		
細菌検査室	185 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	微生物検体処理システム、質量分析装置、全自動血液培養測定装置、全自動同定感受性検査装置、安全キャビネット、光学顕微鏡等		
病理検査室	404 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	密閉式自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、局所廃棄装置切り出し台、局所廃棄装置付検体保管庫、安全キャビネット、バーチャルスライド、スマートセクション、等		
病理解剖室	63.3 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、高圧滅菌装置、ホルマリン希釈装置、臓器乾燥装置、遺体保存冷蔵庫、教育用カメラシステム、等		
研究室	3343 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット、電子顕微鏡、自動血液培養装置、質量分析装置、等		
講義室	561 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	420 人
図書室	142 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	14,678 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	89.1	%	逆紹介率	65.1	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		14,890		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,139		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,735		人
	D: 初診の患者の数		18,639		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
吉村 麻理子	佐賀大学医学部附属病院 医療安全管理室 特任教授	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有するもの	無	1
川添 志	山下・川添総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有するもの	無	1
飯田 由紀子			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページにて公表している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 先進医療、高難度新規医療、指定難病を除く、その他の高度な医療は行っていない。	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	62	ベーチェット病	56
2	筋萎縮性側索硬化症	15	63	特発性拡張型心筋症	77
3	脊髄性筋萎縮症	3	64	肥大型心筋症	40
4	進行性核上性麻痺	2	65	再生不良性貧血	24
5	パーキンソン病	56	66	自己免疫性溶血性貧血	6
6	大脳皮質基底核変性症	2	67	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
7	神経有棘赤血球症	1	68	特発性血小板減少性紫斑病	20
8	シャルコー・マリー・トゥース病	1	69	血栓性血小板減少性紫斑病	1
9	重症筋無力症	85	70	原発性免疫不全症候群	16
10	多発性硬化症／視神経脊髄炎	58	71	IgA 腎症	59
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	9	72	多発性嚢胞腎	28
12	多系統萎縮症	10	73	黄色靱帯骨化症	15
13	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	29	74	後縦靱帯骨化症	66
14	ライゾゾーム病	8	75	広範脊柱管狭窄症	6
15	副腎白質ジストロフィー	1	76	特発性大腿骨頭壊死症	46
16	ミトコンドリア病	8	77	下垂体性ADH分泌異常症	16
17	もやもや病	75	78	下垂体性TSH分泌亢進症	2
18	進行性多巣性白質脳症	1	79	下垂体性PRL分泌亢進症	6
19	HTLV-1関連脊髄症	8	80	クッシング病	3
20	全身性アミロイドーシス	61	81	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15
21	神経線維腫症	22	82	下垂体前葉機能低下症	47
22	天疱瘡	15	83	家族性高コレステロール血症(ホモ接合)	1
23	表皮水疱症	3	84	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
24	膿疱性乾癬(汎発型)	9	85	アジソン病	1
25	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	86	サルコイドーシス	68
26	中毒性表皮壊死症	1	87	特発性間質性肺炎	79
27	高安動脈炎	32	88	肺動脈性肺高血圧症	32
28	巨細胞性動脈炎	11	89	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	20
29	結節性多発動脈炎	15	90	リンパ脈管筋腫症	7
30	顕微鏡的多発血管炎	50	91	網膜色素変性症	2
31	多発血管炎性肉芽腫症	23	92	パッド・キアリ症候群	3
32	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	27	93	特発性門脈圧亢進症	1
33	悪性関節リウマチ	28	94	原発性胆汁性胆管炎	44
34	バージャー病	1	95	旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	
35	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	96	原発性硬化性胆管炎	6
36	全身性エリテマトーデス	303	97	自己免疫性肝炎	9
37	皮膚筋炎／多発性筋炎	96	98	クローン病	148
38	全身性強皮症	120	99	潰瘍性大腸炎	221
39	混合性結合組織病	56	100	好酸球性消化管疾患	12
40	シェーグレン症候群	45	101	クリオピリン関連周期熱症候群	2
41	成人スチル病	12	102	若年性特発性関節炎	3
42	再発性多発軟骨炎	5	103	旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	
43	先天性ミオパチー	1	104	TNF受容体関連周期性症候群	1
44	筋ジストロフィー	7	105	弾性線維性仮性黄色腫	6
45	アトピー性脊髄炎	1	106	マルファン症候群	8
46	脊髄空洞症	2	107	エーラス・ダンロス症候群	1
47	脊髄髄膜瘤	2	108	ウィルソン病	4
48	遺伝性ジストニア	1	109	モワット・ウィルソン症候群	1
49	前頭側頭葉変性症	3	110	アペール症候群	1
50	アICALディ症候群	1	111	ウェルナー症候群	2
51	神経細胞移動異常症	1	112	ヌーナン症候群	1
52	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	3	113	修正大血管転位症	2
53	レノックス・ガストー症候群	2	114	単心室症	3
54	ウエスト症候群	1	115	三尖弁閉鎖症	1
55	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	116	ファロー四徴症	2
56	スタージ・ウェーバー症候群	1	117	エプスタイン病	1
57	結節性硬化症	2	118	アルポート症候群	3
58	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	8	119	急速進行性糸球体腎炎	3
59	特発性後天性全身性無汗症	6	120	軟骨無形成症	1
60	一次性ネフローゼ症候群	28	121	クリッペルトレノネー・ウェーバー症候群	1
61	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	122	後天性赤芽球癆	4
				クローンカイト・カナダ症候群	1
				胆道閉鎖症	8

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
123	紫斑病性腎炎	7	134	IgG4関連疾患	24
124	間質性膀胱炎(ハンナ型)	14	135	黄斑ジストロフィー	1
125	オスラー病	5	136	好酸球性副鼻腔炎	25
126	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	3	137	シリン欠損症	1
127	肺胞低換気症候群	1	138	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
128	副甲状腺機能低下症	1	139	無虹彩症	2
129	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	5	140	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	2
130	フェニルケトン尿症	3	141	家族性地中海熱	39
131	肝型糖原病	2	142	強直性脊椎炎	27
132	脳髄黄色腫症	1	143	特発性多中心性キャッスルマン病	23
133	脂肪萎縮症	1			
				疾患数	143
				合計患者数(人)	2849

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療に係る基準	・緩和ケア診療加算
・医療情報取得加算1・2	・小児緩和ケア診療加算
・医療DX推進体制整備加算	・小児個別栄養管理加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・精神科応急入院施設管理加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・精神病棟入院時医学管理加算
・歯科外来診療感染対策加算4	・精神科身体合併症管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・精神科リエゾンチーム加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・摂食障害入院医療管理加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・がん診療連携拠点病院加算(がん診療連携拠点病院)
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 7対1)	・がんゲノム拠点病院加算
・入院栄養管理体制加算	・栄養サポートチーム加算
・救急医療管理加算	・医療安全対策加算1
・超急性期脳卒中加算	・感染対策向上加算1
・診療録管理体制加算1	・指導強化加算
・医師事務作業補助体制加算1(20対1)	・患者サポート体制充実加算
・急性期看護補助体制加算(25対1・看護補助者5割以上)	・重症患者初期支援充実加算
・夜間100対1急性期看護補助体制加算(急性期看護補助体制加算)	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・夜間看護体制加算(急性期看護補助体制加算)	・ハイリスク妊娠管理加算
・看護補助体制充実加算2(急性期看護補助体制加算)	・ハイリスク分娩管理加算
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)	・呼吸ケアチーム加算
・療養環境加算	・後発医薬品使用体制加算2
・重症者等療養環境特別加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・無菌治療室管理加算1	・薬剤業務向上加算
・無菌治療室管理加算2	・病棟薬剤業務実施加算2
・放射線治療病室管理加算1(治療用放射性同位元素による場合)	・データ提出加算(2)
・放射線治療病室管理加算2(密封小線源による治療)	・入退院支援加算(1)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・入退院支援加算(3)	・
・入院時支援加算(入退院支援加算)	・
・認知症ケア加算1	・
・せん妄ハイリスク患者ケア加算	・
・精神疾患診療体制加算	・
・精神科急性期医師配置加算	・
・地域歯科診療支援病院入院加算	・
・排尿自立支援加算	・
・地域医療体制確保加算	・
・救命救急入院料1	・
・救急体制充実加算1(救命救急入院料)	・
・高度医療体制加算(救命救急入院料)	・
・小児加算(救命救急入院料)	・
・特定集中治療室管理料2	・
・算定上限日数に係る施設基準(特定集中治療室管理料)	・
・小児加算(特定集中治療室管理料)	・
・早期離床・リハビリテーション加算(特定集中治療室管理料)	・
・脳卒中ケアユニット入院医療管理料	・
・新生児特定集中治療室管理料2	・
・総合周産期特定集中治療室管理料1(母体・胎児集中治療室管理料)	・
・新生児治療回復室入院医療管理料	・
・小児入院医療管理料2	・
・プレイルーム、保育士等加算(小児入院医療管理料)	・
・無菌治療管理加算2(小児入院医療管理料)	・
・養育支援体制加算(小児入院医療管理料)	・
・看護補助体制充実加算(小児入院医療管理料)	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・外来腫瘍化学療法診療料1
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・外来腫瘍化学療法診療料の注6に規定する連携充実加算
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算
・慢性維持透析患者外来医学管理料の注3の加算 腎代替療法実績加算	・ニコチン依存症管理料
・喘息治療管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・糖尿病合併症管理料	・がん治療連携計画策定料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料イ	・外来排尿自立指導料
・がん患者指導管理料ロ	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん患者指導管理料ハ	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん患者指導管理料ニ	・薬剤管理指導料
・外来緩和ケア管理料	・検査・画像情報提供加算／電子的診療情報評価料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・医療機器安全管理料1
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・医療機器安全管理料2
・糖尿病透析予防指導管理料	・がんゲノムプロファイリング評価提供料
・小児運動器疾患指導管理料	・禁煙治療補助システム指導管理加算
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・禁煙治療補助システム指導管理加算 禁煙治療補助システム加算
・婦人科特定疾患治療管理料	・在宅療養後方支援病院
・腎代替療法指導管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・一般不妊治療管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・生殖補助医療管理料1	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・二次性骨折予防継続管理料1	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・二次性骨折予防継続管理料3	・遺伝学的検査
・下肢創傷処置管理料	・遺伝学的検査の注2に規定する施設基準
・院内トリアージ実施料	・染色体検査 流産検体を用いた絨毛染色体検査
・外来放射線照射診療料	・骨髄微小残存病変量測定

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞を検体とするもの)	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・BRCA1/2遺伝子検査(血液を検体とするもの)	・経頸静脈的肝生検
・がんゲノムプロファイリング検査	・経気管支凍結生検法
・先天性代謝異常症検査	・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)／抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・CT撮影／MRI撮影
・HPV核酸検出	・冠動脈CT撮影加算
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外傷全身CT加算
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	・大腸CT撮影加算
・検体検査管理加算(IV)	・心臓MRI撮影加算
・国際標準検査管理加算	・乳房MRI撮影加算
・遺伝カウンセリング加算	・小児鎮静下MRI撮影加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・頭部MRI撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・全身MRI撮影加算
・時間内歩行試験／シャトルウォーキングテスト	・画像診断管理加算4
・胎児心エコー法	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ヘッドアップティルト試験	・無菌製剤処理料
・皮下連続式グルコース測定	・外来化学療法加算1
・長期継続頭蓋内脳波検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・(心大血管疾患リハビリテーション初期加算)
・脳波検査判断料1	・(心大血管疾患リハビリテーション急性期リハビリテーション加算)
・神経学的検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・補聴器適合検査	・(脳血管疾患等リハビリテーション初期加算)
・ロービジョン検査判断料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・小児食物アレルギー負荷検査	・運動器リハビリテーション料(I)
・内服・点滴誘発試験	・(運動器リハビリテーション初期加算)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・椎間板内酵素注入療法
・(呼吸器リハビリテーション初期加算)	・緊急穿頭血腫除去術
・がん患者リハビリテーション料	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・経頭蓋磁気刺激療法	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・精神科作業療法	・内視鏡下脳腫瘍生検術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・内視鏡下脳腫瘍摘出術
・医療保護入院等診療料	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・多血小板血漿処置	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)/脳刺激装置交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・人工腎臓	・仙骨神経刺激装置植込術/仙骨刺激装置交換術
・導入期加算3	・角結膜悪性腫瘍切除術
・透析液水質確保加算	・角膜移植術(内皮移植加算)
・慢性維持透析濾過加算	・羊膜移植術
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・緑内障手術 眼内法
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・緑内障手術 その他のもの
・ストーマ合併症加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・処置の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・緑内障手術 濾過胞再建術(needle法)
・自家脂肪注入	・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・網膜再建術
・骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・植込型骨導補聴器植込術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・耳管用補綴材挿入術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・人工中耳植込術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工中耳用材料	・胸腔鏡下弁置換術
・人工内耳植込術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・植込型骨導補聴器移植術／植込型骨導補聴器交換術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・ペースメーカー移植術／ペースメーカー交換術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・ペースメーカー移植術／ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)/両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)/乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)/植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)/両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・補助人工心臓
・気管支バルブ留置術	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 4気管支形成を伴う肺切除	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・同種死体肺移植術	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・生体部分肺移植術	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)/内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術/胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・内視鏡下筋層切開術	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下胃全摘術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術
・腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出手術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術
・腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・同種死体肝移植術	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・生体腎移植術
・腹腔鏡下膵中央切除術	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・ハンナ型間質性膀胱炎手術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・同種死体膵移植術	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)
・同種死体膵腎移植術	・埋没陰茎手術
・同種死体小腸移植術	・陰嚢水腫手術 鼠径部切開によるもの
・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・陰嚢水腫手術 その他
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下直腸切除・切断術 (定位前方切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	・腹腔鏡下仙骨腔固定術
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))	・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下副腎摘出手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・1回線量増加加算(前立腺照射)
・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	・定位放射線治療
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・体外式膜型人工肺管理料	・光学印象
・輸血管管理料 I	・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算
・貯血式自己血輸血管管理体制加算	・画像誘導密封小線源治療加算
・自己生体組織接着剤作成術	・デジタル病理画像による病理診断
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・病理診断管理加算2
・同種クリオプレシピテート作製術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・保険医療機関間の連携による病理診断
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・手術の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・歯科治療時医療管理料
・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)	・看護職員処遇改善評価料69
・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)	・外来・在宅ベースアップ評価料(I)
・麻酔管理料(I)	・入院ベースアップ評価料(87)
・周術期薬剤管理加算(麻酔管理料(I))	・歯科訪問診療料の注13に規定する基準
・麻酔管理料(II)	・口腔細菌定量検査
・周術期薬剤管理加算(麻酔管理料(II))	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ/ロ
・放射線治療専任加算	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ/ロ
・外来放射線治療加算	・咀嚼能力検査

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・咬合圧検査	・入院時食事療養(I)・入院時生活療養費(I)
・精密触覚機能検査	・
・睡眠時歯科筋電図検査	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算(全乳房照射)	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・歯科画像診断管理加算1	・
・歯科画像診断管理加算2	・
・手術用顕微鏡加算	・
・口腔粘膜処置	・
・歯根端切除手術の注3	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・
・顎関節人工関節全置換術(歯科)	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・レーザー機器加算	・
・歯科麻酔管理料	・
・周術期薬剤管理加算(歯科麻酔管理料)	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・
・歯科矯正診断料	・
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)	・
・口腔病理診断管理加算2	・
・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)	・

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1 灌流型3次元血液脳関門モデルを用いた中枢神経系疾患治療薬の開発	諸藤 陽一	脳神経外科	3,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
2 ゲーム依存の社会浸透を防げるか？統合的科学的評価と早期依存対策に向けた基盤研究	大山 要	薬剤部	5,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
3 単球・マクロファージおよびマイクログリアの動態からみた中枢神経障害の病態解析	田崎 修	高度救命救急センター	2,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
4 新規HTLV-1クロナリティ検査法の確立・ATL発症を捉える検査	長谷川 寛雄	検査部	2,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
5 短寿命α線放出核種医薬品の内視鏡的局注療法による消化器がん新規治療戦略の開発	山口 直之	消化器内科	5,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
6 肺臓オルガノイド新規培養系の確立によるin vitroヒト肺線維症モデル創出	土肥 良一郎	腫瘍外科 (第一外科)	5,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
7 地域医療情報システムを用いた脳卒中・心疾患共通レジストリ構築と予後予測因子の探索	立石 洋平	脳神経内科	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
8 Trained immunityによるアトピー性気管支喘息根治療法の開発	深堀 範	呼吸器内科 (第二内科)	705,412	補委 独立行政法人 日本学術振興会
9 ウルトラファインバブル(ナノバブル)水を使用した創傷治癒促進戦略	大石 海道	腫瘍外科 (第一外科)	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
10 悪性腸腰筋症候群の病態に筋紡錘が与える影響の解明と疼痛コントロール方法の検討	石井 浩二	麻酔科	600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
11 カルシウムハンドリング制御による敗血症性心筋症の治療戦略	吉富 修	麻酔科	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
12 β-シクロデキストリンの包接および除放作用を応用した新規根管貼薬剤の開発	柳口 嘉治郎	歯科保存治療室 (保存・補綴歯科)	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
13 多施設共同研究による舌癌予防郭清の適応決定、バイオマーカー検索と組織バンクの構築	大鶴 光信	口腔顎顔面外科室 (第一口腔外科)	500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
14 ペムプロリズマブの治療効果予測に関する薬剤感受性機構の解明	鳴瀬 智史	口腔顎顔面外科室 (第一口腔外科)	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
15 口腔がんの進展・転移における低酸素環境下でのcPLA2の働き	佛坂 由可	矯正歯科 (歯科矯正学)	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
16 がん化学療法誘発口腔粘膜病に対するTNF-αアンタゴニストの効果についての検討	吉松 昌子	口腔管理センター	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
17 遠隔専門医療支援におけるサイバーコンサルテーションの有用性の検討	辻野 彰	脳神経内科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
18 ICT連携の検査データ共有による糖尿病コントロールと歯周治療の数値的関係の解明	山下 利佳	口腔管理センター	400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
19 PK/PDモデルを用いたVenetoclax最適投与法の確立	里 加代子	薬剤部	2,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
20 メタボローム解析を用いた肺動脈性肺高血圧症のバイオマーカーの網羅的探索	江口 正倫	循環器内科	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
21 腹膜線維化におけるマクロファージの極性の関与と新規治療法への応用	西野 友哉	腎臓内科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
22 蛋白質メチル化酵素によるDNA修復機構を標的とした骨髄性腫瘍の新規治療法の開発	糸永 英弘	血液内科 (原研内科)	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
23 家族性地中海熱の病態における免疫老化の意義を明らかにする研究	古賀 智裕	リウマチ・膠原病内科 (第一内科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
24 好中球活性化に着目した強皮症合併肺高血圧症の早期診断・治療標的の包括的特定と展開	井川 敬	リウマチ・膠原病内科 (第一内科)	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
25 乳癌における新規リンパ節転移診断キットの術前薬物療法症例への適応拡大	大坪 竜太	腫瘍外科 (第一外科)	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
26 組織融合技術を用いた直腸吻合器の開発と縫合不全予防のマネージメントの確立	野中 隆	腫瘍外科 (第一外科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
27 HLA-G誘導MSCによる局所免疫の抑制機序解析と免疫抑制性バイオマテリアル開発	田上 幸憲	腫瘍外科 (第一外科)	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
28 SGLT阻害薬が心筋虚血再灌流障害時の内在性臓器保護効果に与える影響と機序解明	一ノ宮 大雅	麻酔科	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
29 肥大心のメタボローム解析と薬理的コンディショニングにおけるNAD+合成系の制御	岩崎 直也	集中治療部 (麻酔科)	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
30 トランスクリプトーム解析から展開するパターン認識を応用した病態解析法の基盤構築	田島 吾郎	高度救命救急 センター	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
31 新規肺特異的疑似毛細血管壁モデルによるARDS病態解明と治療開発	田中 健之	感染制御教育センター	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
32 絨毛性疾患と関連するcircularRNAの同定とその臨床的意義に関する研究	長谷川 ゆり	産科婦人科	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
33 羊膜チューブキャッピングによる外傷性神経腫の制御	岩尾 敦彦	形成外科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
34 臍帯由来間葉系幹細胞からの骨芽細胞分化におけるPrrx1の影響	江頭 寿洋	口腔管理センター	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
35 マイクロラーニングによる技術修得系研修のICT教育は対面での実技研修を超える	野上 朋幸	口腔管理センター	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
36 オンラインでの双方向性連携を活用した県内の医療施設での糖尿病治療標準化への有効性	鎌田 昭江 (森内 昭江)	糖尿病診療支援センター(第一内科)	500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
37 遠隔医療支援システムが医療種の業務負担に与える影響についての検討	田浦 直太	病床管理センター	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
38 人工呼吸器関連肺炎予防のためのハイブリッド口腔ケア材料の創製	中尾 紀子	口腔管理センター	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
39 チョークサインより早く窒息の予兆をAIが見極める食事モニターの開発	玉田 泰嗣	義歯補綴治療室 (保存・補綴歯科)	400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
40 自閉スペクトラム症の痛覚・温冷覚における感覚処理パターンの同定	山本 直毅	精神科神経科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
41 ロボット支援手術チームが作る映像教材とトレーニング機器による教育システムの構築	光成 健輔	泌尿器科・腎移植外科	2,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
42 悪性神経膠腫に対する脂質ナノ粒子を利用した核酸医薬の脳指向型薬物送達法の確立	松尾 彩香	脳神経外科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
43 複数の癌特異的代謝ターゲットとする新規肝癌代謝薬創薬への基盤研究	三馬 聡	消化器内科	500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
44 プラスチックの吸入による肺や全身への健康影響	城戸 貴志	呼吸器内科 (第二内科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
45 関節リウマチに伴う間質性肺疾患における感染症リスク因子の探索	細萱 直希	臨床研究センター	2,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
46 IRF4特異的核酸医薬製剤を用いた新規1型糖尿病発症予防・進展阻止法の開発	錦戸 慎平	内分泌・代謝内科 (第一内科)	2,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
47 脂肪幹細胞での肛門機能低下の新規予防法開発と人工肛門括約筋による肛門機能再生研究	富永 哲郎	腫瘍外科 (第一外科)	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
48 尿路癌におけるLATS-1/2の病理学的意義の解明と新たな治療戦略の構築	松尾 朋博	泌尿器科・腎移植外科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
49 次世代ハイブリッド型全層角膜の作製と保存方法の開発	上松 聖典	眼科	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
50 GPx4に着目したビスホスホネート製剤関連顎骨壊死に対する予防・治療法の開発	尾立 哲郎	冠補綴治療室	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
51 食塊形成の過程を可視化する食事介助モニタリングシステム	高橋 陽助	義歯補綴治療室 (保存・補綴歯科)	2,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
52 口腔外科手術後挿管患者に対する抗菌薬局所投与による術後肺炎発症予防	三浦 桂一郎	口腔顎顔面外科 (第一口腔外科)	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
53 身体的フレイルを有する慢性呼吸器疾患患者における新たな運動プログラムの開発	花田 匡利	リハビリテーション部	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
54 集中治療患者における人工呼吸器装着下での嚥下障害の評価法および治療法の開発	高島 英昭	リハビリテーション部	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
55 原爆被爆者のクローン性造血と生活習慣病、悪性腫瘍発症との関連を解明する研究	佐藤 信也	血液内科 (原研内科)	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
56 口腔細菌由来ジベプチルペプチダーゼによる歯周炎重症化についての生化学的探究	西俣 はるか	小児歯科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
57 精神疾患との共生型社会実現に向けた「病気の見える化」への挑戦	大山 要	薬剤部	8,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
58 糖尿病関連歯周炎における骨細胞ギャップ結合を介した細胞間情報伝達機構の解明	坂本 英次郎	歯科保存治療室 (保存・補綴歯科)	876,894	補委 独立行政法人 日本学術振興会
59 肝細胞癌分子標的薬治療の有害事象予測モデルを組み合わせた新規効果予測	佐々木 龍	消化器内科	500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
60 プロサイモン α 由来ペプチドによるシスプラチン誘発性腎障害の新規予防法開発	鳥越 健太	腎臓内科	100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
61 細菌性肺炎の重症化メカニズムの解明および重症化を抑制する方法の検証	賀来 敬仁	検査部	1,487,744	補委 独立行政法人 日本学術振興会
62 乳癌発癌機構におけるゲノム不安定性の53BP1を指標とした総合的解析	上木 望	地域病理診断支援 センター	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
63 血中循環腫瘍DNAを用いた甲状腺乳頭癌の新たな治療戦略基盤の構築	田中 彩	腫瘍外科 (第一外科)	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
64 低分子化合物による肝前駆細胞を用いた肝加齢性変化の改善、若返り治療	原 貴信	移植・消化器外科 (第二外科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
65 臍帯由来間葉系幹細胞誘導筋芽細胞を用いた革新的消化器手術合併症予防法の開発	小林 慎一郎	移植・消化器外科 (第二外科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
66 マウス小腸移植モデルを用いた小腸移植後抗体関連型拒絶反応の発症機序と治療法の解明	松島 肇	移植・消化器外科 (第二外科)	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
67 Ex vivo再生肺における生体内微小環境を再現した肺上皮構造の再構築	橋本 泰匡	腫瘍外科 (第一外科)	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
68 肺癌術後患者における術後呼吸筋機能障害に着目した新たなアプローチの検討	及川 真人	リハビリテーション部	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
69 細胞外小胞が肝臓構成細胞へ与える影響からみるNASH治療標的の探索	福島 真典	消化器内科	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
70 マクロファージにおける交感神経と副交感神経を介した抗炎症効果の相互作用の解明	牟田 久美子	呼吸器内科 (第二内科)	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
71 ADAMを介した全身性エリテマトーデスにおけるTh17細胞分化制御機構の解明	梅田 雅孝	リウマチ・膠原病内科 (第一内科)	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
72 肺非結核性抗酸菌症の新規治療法開発に向けた組織常在型リンパ球による予防効果の検証	岩永 直樹	呼吸器内科 (第二内科)	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
73 植物性アルカロイドであるセファレンチンを応用した義歯患者用機能的口腔保湿剤の開発	叶井 里歩	義歯補綴治療室 (保存・補綴歯科)	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
74 成育期の咀嚼・嚥下機能発達不全がオーラルフレイルを引き起こすメカニズムの解明	吉見 知子	矯正歯科 (歯科矯正学)	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
75 運動療法と栄養療法の相乗効果による重症大動脈弁狭窄症患者の予後改善への挑戦	矢野 雄大	リハビリテーション部	400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
76 救急医療における深層学習を用いた腹部CT画像AI診断補助システムの開発	中尾 康彦	消化器内科	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
77 オーラルスキャナを応用したテーラーメイド電動歯ブラシの開発と有効性について	小関 優作	口腔管理センター	400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
78 悪性胸膜中皮腫におけるDNA修復機構阻害薬がもたらすがん免疫賦活化作用の解明	谷口 寛和	呼吸器内科 (第二内科)	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
79 間質性肺炎合併肺癌において薬剤性肺炎の発症を予測する新規高分解能CTスコアの確立	行徳 宏	呼吸器内科 (第二内科)	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
80 原発性線毛運動不全症診断における客観的・自動的評価法の確立	由良 博一	呼吸器内科 (第二内科)	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
81 非小細胞肺癌におけるAXL-MBIP融合遺伝子の病的意義の解析と治療標的の検索	竹本 真之輔	呼吸器内科 (第二内科)	2,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
82 抗基底膜抗体型腎炎における自律神経刺激による腎保護効果の検討	阿部 伸一	呼吸器内科 (第二内科)	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
83 剥脱性口唇炎の病態の探索:唾液中に関する検討	鋤塚 さやか	皮膚科・アレルギー科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
84 特発性多中心性キャッスルマン病のリンパ節領域数と病態との関連を明らかにする研究	住吉 玲美	臨床研究センター	2,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
85 難治性放射線皮膚障害に対するIL-12製剤の臨床応用実現に向けて	西條 広人	形成外科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
86 新規自己組織化ナノデバイスを搭載した遺伝子活性化基質GAMの開発	原 昌士	顎口腔再生外科室 (第二口腔外科)	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
87 自己非培養脂肪組織由来細胞移植によるインプラント周囲炎新規治療法開発基盤構築研究	張 曉旭	冠補綴治療室	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
88 口腔癌における免疫チェックポイント分子の発現と臨床学的因子との関連	古川 浩平	口腔顎顔面外科室 (第一口腔外科)	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
89 唾液バイオマーカーを用いた術後睡眠障害の発症機序の解明および新規予防法の確立	本田 由 (尾崎 由)	麻酔・生体管理科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
90 地域医療圏を反映する新しい外来経口抗菌薬使用量評価システムと耐性菌抑制効果	柿内 聡志	感染制御教育センター	2,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
91 膝癌EUS-FNA検体を用いたex vivo培養システム構築と新規薬剤感受性試験の確立	高橋 孝輔	総合患者支援部	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
92 ラットCLiPを用いた肝小葉様構造の作製および移植の実施、構造並びに機能評価	哲翁 華子	移植・消化器外科 (第二外科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
93 歯周病および歯周病原細菌量と咀嚼機能の変化が糖尿病へ及ぼす影響:五島コホート研究	大平 真之	歯科保存治療室 (保存・補綴歯科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
94 炭酸アパタイトの骨置換制御機構解明による個別化骨補填材料創製のための基盤構築研究	張 曉旭	冠補綴治療室	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
95 特定健診の受診集団を対象とした電子的患者報告アウトカム(ePRO)の開発	矢野 浩史	臨床研究センター	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
96 高齢肝再生不全に対するSenolysisの試み	右田 一成	移植・消化器外科 (第二外科)	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
97 悪性神経膠腫に対するmiRNAを使用した核酸医薬とその非侵襲的送達法の開発	中村 光流	脳神経外科	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
98 金属アレルギーにおける新規Rabタンパク質の機能解明	野黒美 麻由子	義歯補綴治療室 (保存・補綴歯科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
99 M1マクロファージを機軸としたMRONJの病態形成機構解明と治療法開発基盤構築研究	小堤 涼平	冠補綴治療室 (保存・補綴歯科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
100	診療データと免疫学的指標の統合処理型人工知能によるirAE予測モデルの開発	橋詰 淳哉	安全管理部/薬剤部	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
101	ジルコニア製リテンションビーズがジルコニアとコンポジットレジンとの維持に与える効果	大平 ちひろ	中央技工室	350,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
102	細菌毒素の病原性における宿主因子GILTの働きに関する基礎および臨床研究	高橋 健介	高度救命救急センター(救急科)	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
103	HTLV-1の分子系統別疾患感受性の解明と層別化コホート研究の構築	前田 隆浩	総合診療学	2,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
104	ES細胞由来小腸オルガノイドを用いた再生医療による短腸症候群の革新的治療	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	4,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
105	多疾患併存は高齢者の加齢性身体機能低下とどのような疫学的関連性があるのか	山梨 啓友	総合診療学	2,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
106	組織マクロファージの動的恒常性維持機能を標的軸としたデザイナー細胞医薬の開発	住田 吉慶	先進口腔医療開発学	4,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
107	プレボテラ菌による肺炎増悪の機序の解明及び新規治療法の開発	迎 寛	呼吸器内科(第二内科)	5,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
108	マクロファージ階層構造と組織配向性制御によるインプラント周囲炎の病態形成機構解明	澤瀬 隆	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	4,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
109	自浄機能と生理活性物質徐放ドラッグデリバリー機能をもつ多機能軟質ライニング材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	7,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
110	自己免疫疾患における所属リンパ節の免疫機能は正を標的軸としたデザイナー細胞の開発	井 隆司	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	4,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
111	医療・介護連結ビッグデータによるポリファーマシーと介護リスクの関連分析	永田 康浩	地域医療学	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
112	びまん性肝腫瘍に対する症状緩和効果の向上を目指した肝機能温存放射線治療の開発	東家 亮	放射線診断治療学	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
113	蛋白増幅法の検出法をベースとした神経変性疾患を鑑別できる新規バイオマーカーの開発	佐藤 克也	作業療法学	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
114	デジタルパソロジーによる病因に基づく非アルコール性脂肪性肝疾患の病理像の探索	宮明 寿光	消化器内科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
115	肺動脈性肺高血圧における長鎖ノンコーディングRNAの意義の解明	前村 浩二	循環器内科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
116	単球機能解析からアプローチする全身性強皮症の新規バイオマーカーおよび治療標的の同定	岩本 直樹	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
117	関節炎が起こる前段階で関節リウマチの発症を人工知能で予測する多角的な研究	玉井 慎美	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
118	好中球機能に着目したインフルエンザ関連細菌性肺炎の重症化機序解明	小佐井 康介	臨床検査医学	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
119	膝関節内環境における細胞代謝変化と自己免疫性糖尿病進展の関連性の検討	二里 哲朗	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
120	早期診断が困難な腎移植後抗体関連型拒絶反応に対する革新的検査法の創出	今村 亮一	泌尿器科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
121	重症二次性三尖弁逆流に対するスパイラル・サスペンション法の有効性に関する臨床研究	三浦 崇	心臓血管外科学	300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
122	オピオイド受容体の細胞内局在と活性変化に基づく最適なオピオイド順次投与法の確立	村田 寛明	麻酔科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
123	顕微鏡手術へのロボット導入の為の高解像度3Dモニター下微細手術の問題解明	松尾 孝之	脳神経外科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
124	がん脳転移にペリサイトが及ぼす影響をin vitro血液脳関門モデルで解明する	氏福 健太	脳神経外科	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
125	陣痛発来と関連するRNAプロファイルの同定とその臨床的意義に関する研究	三浦 清徳	産科婦人科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
126	産科疾患における妊娠産物由来間葉系幹細胞・エクソソームの臨床的意義に関する研究	三浦 生子	産科婦人科	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
127	骨髄異形成症候群におけるKMT2Dの役割の解明とそれに基づいた新規治療法の開発	安東 恒史	原研内科	800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
128	Mixed Realityと人工知能で実現する関節リウマチ遠隔医療システムの構築	川尻 真也	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
129	特発性多中心性キャッスルマン病の病型をクラスタリングする分子基盤研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
130	新規モデルマウスを用いたアスペルギローマ排除機構の解明および薬物動態の解析	田代 将人	感染症学	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
131	1型糖尿病のエフェクター機能を反映した抗原特異的T細胞マーカーの開発	赤澤 諭	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
132	低分子化合物によるリプログラミング技術を用いた自己非β膵細胞からの新規β細胞誘導	足立 智彦	移植・消化器外科(第二外科)	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
133	化学的誘導肝前駆細胞によるin vivoにおける胆管再構築	曾山 明彦	先端技術展開外科学講座	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
134	血液脳関門モデルを用いた造影剤脳症の作用機序解明と治療法探求	松永 裕希	脳神経外科	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
135	加齢黄斑変性の予後改善を目指した治療抵抗例の検討とGLP1刺激による新規治療開発	大石 明生	眼科	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
136	ケロイド発生に対するfibroblast分化の関与	檜山 和也	形成再建外科学	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
137	薬剤関連顎骨壊死手術における適切な骨切除範囲決定方法:多機関共同前向き研究	六反田 賢	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
138	MRIと深層学習を用いた口腔癌リンパ節転移予測法の確立	角 美佐	歯科放射線学	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
139	低酸素細胞の放射線抵抗性におけるcPLA2の働き	片山 郁夫	歯科放射線学	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
140	Colitic cancerの発症予測を可能とする腸管幹細胞のゲノム不安定性解析	赤澤 祐子	組織細胞生物学	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
141	新規症候性疾患ROBO1異常症における臨床的、分子遺伝学的研究	伊達木 澄人	小児科学	2,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
142	コロナウイルスは川崎病の誘発因子か? :PCRと抗体検査による網羅的解析	森内 浩幸	小児科学	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
143	大気微粒子成分に特異的な喘息気道炎症パターンの解明と治療戦略の提案	尾長谷 靖	呼吸器内科(第二内科)	2,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
144	次世代型バイオセラミックスを用いた不完全垂直歯根破折に対する新規治療法の開発	松裏 貴史	歯周歯内治療学	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
145	ステロイド含漱剤の口腔粘膜炎症予防に関する多機関共同第Ⅲ相ランダム化比較試験	五月女 さき子	口腔保健学(予防歯科)	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
146	オピオイド受容体・パンセプチン受容体を標的とした新しい周術期鎮痛法・鎮痛薬の開発	倉田 眞治	歯科麻酔学	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
147	歯根吸収発症における細胞小器官分解システム関連蛋白の役割	佛坂 斉社	矯正歯科(歯科矯正学)	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
148	パーキンソン病モデルマウスを用いた咀嚼・嚥下障害発症メカニズムの解明と治療法開発	吉田 教明	矯正歯科(歯科矯正学)	1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
149	仮想曝露とバイオフィードバックによる歯科恐怖症治療システムの開発	田上 直美	小児歯科学	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
150	iPS細胞由来巨核球を骨誘導のデザイナー細胞として応用した新しい骨再生治療開発	住田 吉慶	先進口腔医療開発学	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
151	様々な臓器再生に応用可能な人工臓器基本骨格作製と大量生産・品質向上の基礎的研究	松本 桂太郎	腫瘍外科学(第一外科)	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
152	マウスモデルを用いたカンジダ属の薬剤耐性機序の解明	平山 達朗	薬物治療学	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
153	即時埋入とPTH製剤の相乗的骨量・骨質向上効果による革新的インプラント治療法開発	右藤 友督	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
154	関節リウマチとシトルリン化蛋白質の関係にリボソームの異常から迫る	福井 翔一	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
155	NLRP3インフラマソームを介する歯周病と糖尿病の相互作用に関する分子疫学的研究	樋口 賀奈子	歯周歯内治療学	1,800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
156	アセチルクエン酸トリプチルを用いた生体親和性の高い光重合型軟質リライン材の開発	森 智康	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
157	MRSA治療最適化を目指した、流行クローン劇的変化の要因とその病原性の解明	加勢田 富士子	病態解析・診断学	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
158	他家細胞を利用する新規再生医療開発を目指した骨格筋由来細胞の免疫応答特性の解析	東 美樹	消化器再生医療学講座	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
159	パーチェット病のゲノムワイド重型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
160	好中球と関連miRNA発現制御による創傷治癒遅延機構の解明と革新的治療法の開発	坂本 憲穂	呼吸器内科(第二内科)	100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
161	個別最適化した超早期認知症予防介入プログラムの開発とシステム構築	佐藤 克也	作業療法学	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
162	IgG4関連涙腺・唾液腺炎の診断基準への超音波診断導入のための多施設共同研究	高木 幸則	歯科放射線学	100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
163	口腔常時菌による血流感染の発症機構に基づいた医科歯科連携による高度管理方法の構築	五月女 さき子	口腔保健学(予防歯科)	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
164	シリコン微細粒子経口投与によるラット異系腎移植モデルにおける免疫応答への効果	今村 亮一	泌尿器科	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
165	尿中蛋白質断片の網羅的解析による日和見感染症の新規診断法の開発	平山 達朗	薬物治療学	300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
166	HMGB1ペプチドを用いた末梢血間葉系幹細胞動員による腎線維化の抑制	今村 亮一	泌尿器科	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
167	高齢者の機能菌数・オーラルフレイルと唾液中細菌の関連:天草コホート研究	五月女 さき子	口腔保健学(予防歯科)	30,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
168	抜歯後MRONJ発症機序の解明および予防策の確立	五月女 さき子	口腔保健学(予防歯科)	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
169	腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	今村 亮一	泌尿器科	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
170	腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	今村 亮一	泌尿器科	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
171	脳可塑性変化に基づく口腔リハビリテーション効果の解析	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	60,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
172	難聴児見逃しゼロを目指した小児聴覚スクリーニングシステムの構築	熊井 良彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科学口	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
173	難聴児見逃しゼロを目指した小児聴覚スクリーニングシステムの構築	佐藤 智生	耳鼻咽喉・頭頸部外科学口	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
174	マイノリティストレスがHIV陽性者の治療意欲抑制に及ぼす影響と支援策の案出	長浦 由紀	総合診療学	130,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
175	包括的疾患インタクトームとモデルマウスによる自己炎症疾患の多様性と周期性の解明	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
176	脳・脊髄液以外の検体からの微量異常型プリオン蛋白検出法の開発	佐藤 克也	作業療法学	100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
177	オルガノイド由来Ⅱ型肺細胞とデザイナー臍帯MSCの共移植による革新的細胞治療の創出	松本 桂太郎	腫瘍外科学(第一外科)	20,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
178	孤独感-自殺プロセスに寄与する睡眠問題の特定と認知行動療法による孤独予防効果	長浦 由紀	総合診療学	300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
179	原発性局所多汗症症状に対する不安尺度の開発及び不安軽減のための心理療法の開発	室田 浩之	皮膚科	50,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
180	歯周病と動脈硬化-微細炎症合併日本人型経度肥満モデルでの検討	岩下 未咲	歯周歯内治療学	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
181	有機無機ハイブリッド型抗菌剤を応用した抗菌性義歯粘着剤の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
182	薬剤関連顎骨壊死の原因薬剤休薬は骨代謝機構を回復させ治療成績に寄与するか?	大森 景介	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
183	牽引力錯覚を用いた指ジェスチャーの遠隔伝達	岨野 太一	移植・消化器外科(第二外科)	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
184	HTLV-1の分子系統別疾患感受性の解明と層別化コホート研究の構築	前田 隆浩	総合診療学	2,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
185	多疾患併存は高齢者の加齢性身体機能低下とどのような疫学的関連性があるのか	山梨 啓友	総合診療学	2,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
186	組織マクロファージの動的恒常性維持機能を標的軸としたデザイナー細胞医薬の開発	住田 吉慶	先進口腔医療開発学	4,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
187	プレボテラ菌による肺炎増悪の機序の解明及び新規治療法の開発	迎 寛	呼吸器内科(第二内科)	5,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
188	マクロファージ階層構造と組織配向性制御によるインプラント周囲炎の病態形成機構解明	澤瀬 隆	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	4,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
189	自浄機能と生理活性物質徐放ドラッグデリバリー機能をもつ多機能軟質リライン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	7,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
190	自己免疫疾患における所属リンパ節の免疫機能是正を標的軸としたデザイナー細胞の開発	井 隆司	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	4,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
191	地域医療構想を見据えた救急医療提供体制の構築に関する研究	高山 隼人	地域医療支援センター	200,000	補委 厚生労働省
192	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	上松 聖典	眼科	700,000	補委 厚生労働省
193	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリによる診療連携体制および相談機能の強化と診療ガイドラインの改訂	松尾 朋博	泌尿器科・腎移植外科	200,000	補委 厚生労働省
194	脳脊髄液減少症の疫学研究及び客観的診断法に資する研究	里 龍晴	小児科	150,000	補委 厚生労働省
195	南海トラフ地震等大規模激甚災害時のドクターヘリ運用体制構築に向けた研究	高山 隼人	地域医療支援センター	210,000	補委 厚生労働省
196	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科	23,000,000	補委 厚生労働省
197	発汗異常を伴う稀少難治療性疾患の治療指針作成、疫学調査の研究	室田 浩之	皮膚病態学	10,000,000	補委 厚生労働省

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
198	キャスルマン病、TAFRO症候群、類縁疾患の診療ガイドラインの策定や更なる改良に向けた国際的な総意形成を踏まえた調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	7,999,000	補委	厚生労働省
199	自己免疫性自律神経障害の全国調査、診断基準策定、国際的な総意形成	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	60,000	補委	厚生労働省
200	自己免疫疾患に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	1,500,000	補委	厚生労働省
201	自己炎症性疾患とその類縁疾患における、移行期医療を含めた診療体制整備、患者登録推進、全国疫学調査に基づく診療ガイドライン構築に関する研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	600,000	補委	厚生労働省
202	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリによる診療連携体制および相談機能の強化と診療ガイドラインの改訂	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	200,000	補委	厚生労働省
203	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリによる診療連携体制および相談機能の強化と診療ガイドラインの改訂	佐藤 克也	保健学専攻 作業療法学分野	200,000	補委	厚生労働省
204	人口動態や地域の実情に対応するへき地医療の推進を図るための研究	前田 隆浩	総合診療学	500,000	補委	厚生労働省
205	非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者に合併する腫瘍への包括的対策に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科	300,000	補委	厚生労働省
206	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	室田 浩之	皮膚病態学	3,710,000	補委	厚生労働省
207	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	川崎 五郎	口腔腫瘍治療学	420,000	補委	厚生労働省
208	医療機関における院内感染対策の質向上のための研究	柳原 克紀	臨床検査医学	150,000	補委	厚生労働省
209	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	佐藤 克也	保健学専攻 作業療法学分野	5,000,000	補委	厚生労働省
210	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	室田 浩之	皮膚病態学	500,000	補委	厚生労働省
211	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班	佐藤 克也	保健学専攻 作業療法学分野	800,000	補委	厚生労働省
212	臓器・組織移植医療における医療者の負担軽減、環境改善に資する研究	江口 晋	移植・消化器外科	1,000,000	補委	厚生労働省
213	HTLV-1キャリア妊産婦の支援体制の構築に関する研究	森内 浩幸	小児科学	200,000	補委	厚生労働省
214	HTLV-1キャリア妊産婦の支援体制の構築に関する研究	三浦 清徳	産科婦人科	200,000	補委	厚生労働省
215	特発性大腿骨頭壊死症の確定診断と重症度判定の向上に資する大規模多施設研究	尾崎 誠	整形外科	100,000	補委	厚生労働省
216	特発性造血障害に関する調査研究	宮崎 泰司	原研内科	500,000	補委	厚生労働省
217	じん肺健康診断とじん肺管理区分決定の適切な実施に関する研究	芦澤 和人	臨床腫瘍学	11,500,000	補委	厚生労働省
218	成人発症スチル病(AOSD)に対する5-アミノレブリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム(5-ALA HCL/SFC)投与の医師主導治験	川上 純	リウマチ・膠原病内科	104,000,000	補委	(AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
219 統合レジストリを活用したキャスルマン病・TAFRO症候群における精密医療基盤の構築を目指す実用化研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科	13,000,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
220 低分子化合物による自己肝前駆細胞を用いた革新的肝硬変治療	江口 晋	移植・消化器外科学	39,000,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
221 統合レジストリによる多発性筋炎／皮膚筋炎関連間質性肺疾患の個別化医療基盤の構築	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	780,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
222 MEFV遺伝子の網羅的なVUS機能的アノテーションと新規Ex vivo assayを用いた患者細胞機能評価・詳細な遺伝子型解析の統合による家族性地中海熱の病態及びパイリンインフラマソーム活性化機構解明	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	650,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
223 HAM・HTLV-1陽性難治性疾患の患者レジストリ活用によるエビデンス創出	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	585,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
224 HAM・HTLV-1陽性難治性疾患の患者レジストリ活用によるエビデンス創出	松尾 朋博	泌尿器科・腎移植外科	195,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
225 移植免疫寛容を誘導する再生医療等製品「誘導型抑制性T細胞」の医師主導治験と承認申請に向けた取り組み	江口 晋	移植・消化器外科	2,600,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
226 MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第I相治験	江口 晋	移植・消化器外科学	390,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
227 MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第I相治験	熊井 良彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	260,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
228 保健・医療・介護・行政データを統合した大規模データベースを活用したワクチンの有効性・安全性の検証に資する研究開発	佐藤 俊太郎	臨床研究センター	5,200,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
229 たんぱく質必要量の評価のための基礎データ構築研究	佐藤 俊太郎	臨床研究センター	130,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
230 臨床開発を目指したベッカー型筋ジストロフィーの自然歴調査研究	里 龍晴	小児科	260,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
231 成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立：薬事承認を目的とした第II相医師主導治験	加藤 丈晴	血液内科	3,510,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
232 ミトコンドリア分子連関を介した重点感染症の治療薬開発	西野 友哉	腎臓内科	2,600,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
233 進行直腸癌に対する導入/強化化学療法を併用した化学放射線療法後の待機療法に関する多施設ランダム化第II相試験	富永 哲郎	大腸・肛門外科	390,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
234 低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究	芦澤 和人	臨床腫瘍学	260,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
235 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症を対象としたバルガンシクロビル治療の開発研究	森内 浩幸	小児科学	1,950,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
236 未診断疾患イニシアチブ (Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)): 希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	吉浦 孝一郎	人類遺伝学研究分野	11,700,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
237 アグレッシブ成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした全国一元化レジストリ・バイオレポジトリ研究	糸永 英弘	細胞療法部	325,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
238 高齢者急性骨髄性白血病の適応症例に対する強力化学療法を用いた第II相臨床試験:JALSG-GML219、非適応症例に対するベネトクラクス+アザシチジンを用いた第II相臨床試験:JALSG-GML225	宮崎 泰司	血液内科学研究分野	1,300,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
239 網膜色素変性の病因遺伝子変異とその臨床像に関するエビデンス構築	大石 明生	眼科	650,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
240 HTLV-1水平感染の動向と検査法・検査体制の整備	長谷川 寛雄	検査部	650,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
241 北部九州における分散型臨床試験のための医療機関ネットワーク構築と倫理審査の効率化を目指した研究	山本 弘史	臨床研究センター	1,300,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
242 RBA実装事例の蓄積と臨床研究中核病院以外のAROにおいて効果的なRBA実装を可能とするためのツール整備	細萱 直希	臨床研究センター	2,943,200	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
243 多発性筋炎/皮膚筋炎に伴う進行性フェノタイプを示す間質性肺疾患に対する活性型IL-18特異的中和抗体の開発研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	28,210,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
244 プリオン病国際医師主導治験獲得のためのプリオン病早期診断基準の作成と非侵襲性診断法の開発	佐藤 克也	作業療法学	14,040,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
245 HTLV-1水平感染の動向と検査法・検査体制の整備	三浦 清徳	産科婦人科学	20,553,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
246 HTLV-1水平感染の動向と検査法・検査体制の整備(追加交付)	三浦 清徳	産科婦人科学	27,300,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
247 臨床研究モジュールにおける技術的支援(消化管・膵臓研究に基づく支援等)	江口 晋	移植・消化器外科学	4,420,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
248 HTLV-IG実用化にむけた小児科からの検証	森内 浩幸	小児科学	650,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
249 蛋白増幅法(RT-QuIC法)を利用したシヌクレインパチー患者の髄液を用いた疾患鑑別マーカーと早期診断マーカーの確立	佐藤 克也	保健科学分野	13,000,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
250 臍帯組織による先天性CMV感染体外診断薬の開発、免疫クロマト法を用いた新たな尿中CMV迅速診断法の開発、新生児尿CMVスクリーニングのフィジビリティ検証研究、管理指針・感染予防策の情報提供と医療相談	森内 浩幸	小児科学	1,040,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
251 学会と連携したMIS-Cの調査と症例募集	森内 浩幸	小児科学	1,950,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
252 全国妊婦保菌GBSサーベイランス体制の構築	三浦 清徳	産科婦人科学	2,600,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
253 (2)HAM発症リスクに関するエビデンスの創出	前田 隆浩	地域医療学分野	585,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
254 化合物ライブラリーを用いた抗真菌薬シーズの探索	平山 達朗	薬物治療学	3,250,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
255 非臨床試験(ブタ・サル肝移植標準化)・患者選択指針のガイダンス作成	曾山 明彦	先端技術展開外科学	650,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
256 Mycobacterium abscessus speciesの病原性に関する基礎的解析	柳原 克紀	病態解析・診断学	1,300,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
257 臨床試験実施統括と補助	宮崎 泰司	血液内科学研究分野	1,300,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構
258 全ゲノム解析データ患者還元体制の構築	宮崎 泰司	血液内科学研究分野	130,000	補委 (AMED)国立研究開発法人日本医療研究開発機構

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
259 灌流型3次元血液脳関門モデルを用いた中枢神経系疾患治療薬の開発	前村 浩二	循環器内科	200,000	補委 公益財団法人日本糖尿病財団
260 ゲーム依存の社会浸透を防げるか？統合的科学的評価と早期依存対策に向けた基盤研究	江口 晋	移植・消化器外科	100,000	補委 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
261 ゲーム依存の社会浸透を防げるか？統合的科学的評価と早期依存対策に向けた基盤研究	江口 晋	移植・消化器外科	330,000	補委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
262 単球・マクロファージおよびマイクログリアの動態からみた中枢神経障害の病態解析	前村 浩二	循環器内科	102,000	補委 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
263 新規HTLV-1クロナリティ検査法の確立・ATL発症を捉える検査	永安 武	腫瘍外科	292,600	補委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
264 短寿命α線放出核種医薬品の内視鏡的局注療法による消化器がん新規治療戦略の開発	堀江 一郎	内分泌・代謝内科	300,000	補委 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
265 肺泡オルガノイド新規培養系の確立によるin vitroヒト肺線維症モデル創出	大庭 康司郎	泌尿器科	120,000	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
266 地域医療情報システムを用いた脳卒中・心疾患共通レジストリ構築と予後予測因子の探索	江口 晋	移植・消化器外科	60,000	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
267 洞不全症候群・心房細動の関連遺伝子単離と機能解析:J-PRES3	前村 浩二	循環器内科	2,000	補委 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
268 周産期医療体制の維持に必要な医師育成・確保事業	三浦 清徳	産科婦人科学	11,000,000	補委 佐賀県
269 【MS】 発達障害・うつ病患者実証実験研究	熊崎 博一	精神神経科学	28,340,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機関(JST)
270 【CREST】 マルチタスクAIによる5歳児協調健診における大規模実験と実稼働	熊崎 博一	精神神経科学	14,170,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機関(JST)
271 【未来社会創造】 発達障害児を対象とした社会情動能力の数理的発達の検証	熊崎 博一	精神神経科学	3,900,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機関(JST)
272 【RISTEX】 離島の発達障害児医療におけるアバターロボットの活用支援体制の構築	永田 康浩	地域医療学	7,800,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機関(JST)
273 【CREST】 マルチタスクAIによる5歳児協調健診における大規模実験と実稼働	川下 由美子	口腔保健学	1,000,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機関(JST)
274 【未来社会創造】 発達障害児を対象とした社会情動能力の数理的発達の検証	田上 直美	小児歯科学	265,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機関(JST)
275 【RISTEX】 離島の発達障害児医療におけるアバターロボットの活用支援体制の構築	林田 直美	地域医療学	700,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機関(JST)
276 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における神経障害に対するGB-0998の有効性、安全性を検討する多施設共同オープン試験	岩本 直樹	臨床医学	132,132	補委 一般社団法人日本血液製剤機構
		合計	717,628,982	

計276件

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ikenaga N.; Hashimoto T.; Mizusawa J,et al.	肝胆膵外科・肝移植外科(第二外科)	A multi-institutional randomized phase III study comparing minimally invasive distal pancreatectomy versus open distal pancreatectomy for pancreatic cancer; Japan Clinical Oncology Group study JCOG2202 (LAPAN study)	BMC Cancer. 2024 Feb 19;24(1):231. doi: 10.1186/s12885-024-11957-9.	Original Article
2	Yamashita M.; Tominaga T.; Nonaka T,et al.	看護学	Short-term outcomes after laparoscopic colorectal cancer surgery in patients over 90 years old: a Japanese multicenter study	BMC Surg. 2024 Jan 2;24(1):2. doi: 10.1186/s12893-023-02298-8.	Original Article
3	Ichinose K.; Sato S.; Igawa T,et al.	臨床研究センター	Evaluating the safety profile of calcineurin inhibitors: cancer risk in patients with systemic lupus erythematosus from the LUNA registry—a historical cohort study	Arthritis Res Ther. 2024 Feb 12;26(1):48. doi: 10.1186/s13075-024-03285-x.	Original Article
4	Imakhanova A.; Ideguchi R.; Kawano H,et al.	原爆・ヒバクシャ医療	Optimizing cardiac amyloidosis assessment: utility of 1-h and 3-h 99mTc-PYP imaging	Eur J Med Res. 2024 Jan 6;29(1):32. doi: 10.1186/s40001-023-01629-y.	Original Article
5	Seol J.; Chiba S.; Kawana F,et al.	総合診療科	Validation of sleep-staging accuracy for an in-home sleep electroencephalography device compared with simultaneous polysomnography in patients with obstructive sleep apnea	Sci Rep. 2024 Feb 12;14(1):3533. doi: 10.1038/s41598-024-53827-1.	Original Article
6	Vulu F.; Futami K.; Sunahara T,et al.	環境医学	Geographic expansion of the introduced Aedes albopictus and other native Aedes species in the Democratic Republic of the Congo	Parasit Vectors. 2024 Jan 26;17(1):35. doi: 10.1186/s13071-024-06137-4.	Original Article
7	Liverani M.; Phongluxa K.; Phommasone K,et al.	熱帯医学・グローバルヘルス系	Prospects for the development of community-based care in remote rural areas: a stakeholder analysis in Laos	BMC Health Serv Res. 2024 Jan 11;24(1):55. doi: 10.1186/s12913-023-10523-6.	Original Article
8	Mine K.; Nagafuchi S.; Akazawa S,et al.	リウマチ・膠原病内科学	TYK2 signaling promotes the development of autoreactive CD8+ cytotoxic T lymphocytes and type 1 diabetes	Nat Commun. 2024 Feb 13;15(1):1337. doi: 10.1038/s41467-024-45573-9.	Original Article
9	Hashimoto S.; Tominaga T.; Nonaka T,et al.	大腸・肛門外科(第一外科)	Long-term outcomes and early recurrence after resection for metachronous pulmonary metastases from colorectal cancer	Langenbecks Arch Surg. 2023 Dec 29;409(1):24. doi: 10.1007/s00423-023-03209-4.	Original Article
10	Nonaka T.; Iwasaki Y.; Horiuchi H,et al.	脳神経内科	Detection limitations of prion seeding activities in blood samples from patients with sporadic prion disease	BMC Neurol. 2024 Mar 11;24(1):92. doi: 10.1186/s12883-024-03590-7.	Original Article

11	Noda K.; Tominaga T.; Nonaka T,et al.	大腸・肛門外科(第一外科)	Prognostic value of lymph node distribution after laparoscopic colectomy with Japanese D3 dissection	Langenbecks Arch Surg. 2024 Jan 6;409(1):28. doi: 10.1007/s00423-023-03222-7.	Original Article
12	Takayama-Isagawa Y.; Kanetaka K.; Kobayashi S,et al.	胃・食道外科(第二外科)	High serum alpha-fetoprotein and positive immunohistochemistry of alpha-fetoprotein are related to poor prognosis of gastric cancer with liver metastasis	Sci Rep. 2024 Feb 14;14(1):3695. doi: 10.1038/s41598-024-54394-1.	Original Article
13	Miyazaki T.; Matsumoto K.; Sato T,et al.	腫瘍外科学	Efficacy and safety of add-on mirogabalin to conventional therapy for the treatment of peripheral neuropathic pain after thoracic surgery: the multicenter, randomized, open-label ADMIT-NeP study	BMC Cancer. 2024 Jan 15;24(1):80. doi: 10.1186/s12885-023-11708-2.	Original Article
14	Higuchi T.; Koseki H.; Yonekura A,et al.	保健科学	Comparison of short-term clinical outcomes between open-wedge high tibial osteotomy and tibial condylar valgus osteotomy	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Jan 27;25(1):98. doi: 10.1186/s12891-024-07205-7.	Original Article
15	Matsumoto T.; Nagashima M.; Kagaya W,et al.	環境医学	Evaluation of a financial incentive intervention on malaria prevalence among the residents in Lake Victoria basin, Kenya: study protocol for a cluster-randomized controlled trial	Trials. 2024 Mar 4;25(1):165. doi: 10.1186/s13063-024-07991-4.	Original Article
16	Kawasaki E.; Awata T.; Ikegami H,et al.	内分泌・代謝内科	Prediction of future insulin-deficiency in glutamic acid decarboxylase autoantibody enzyme-linked immunosorbent assay-positive patients with slowly-progressive type 1 diabetes	J Diabetes Investig. 2024 Jul;15(7):835-842. doi: 10.1111/jdi.14178. Epub 2024 Mar 7.	Original Article
17	Iwanaga J.; Kikuchi K.; Tabuchi K,et al.	細胞生物学	A histology guide for performing human cadaveric studies: SQIP 2024 what to look for with light microscopy	Clin Anat. 2024 Jul;37(5):555-562. doi: 10.1002/ca.24156. Epub 2024 Mar 12.	Original Article
18	Tran L.; Tu V.L.; Dadam M.N,et al.	分子標的医学研究センター	Antimalarial activities of benzothiazole analogs: A systematic review	Fundam Clin Pharmacol. 2024 Jun;38(3):410-464. doi: 10.1111/fcp.12974. Epub 2023 Dec 26.	Review
19	Yanagita Y.; Arizono S.; Yokomura K,et al.	理学療法学	Enhancing exercise tolerance in interstitial lung disease with high-flow nasal cannula oxygen therapy: A randomized crossover trial	Respirology. 2024 Jun;29(6):497-504. doi: 10.1111/resp.14684. Epub 2024 Feb 22.	Original Article
20	Kurosawa S.; Shimomura Y.; Ishiyama K,et al.	細胞療法部	Updated comparable efficacy of cord blood transplantation for chronic myelomonocytic leukaemia: a nationwide study	Bone Marrow Transplant. 2024 Jun;59(6):742-750. doi: 10.1038/s41409-024-02223-4. Epub 2024 Feb 8.	Original Article
21	Hashiguchi K.; Mine S.; Shiota J,et al.	組織細胞生物学	Colonic intussusception after endoscopic mucosal resection successfully managed by endoscopic procedure	Clin J Gastroenterol. 2024 Jun;17(3):466-471. doi: 10.1007/s12328-024-01953-8. Epub 2024 Mar 20.	Original Article

22	Nakano T.; Takao S.; Dairaku K,et al.	ウイルス学	Implementable assay for monitoring minimum residual disease after radical treatment for colorectal cancer	Cancer Sci. 2024 Jun;115(6):1989-2001. doi: 10.1111/cas.16149. Epub 2024 Mar 26.	Original Article
23	Honda A.; Liu Y.; Fauth E.B,et al.	看護学	Predictive Factors of Negative Spillover From Caregiving to Employment Among Japanese Family Caregivers With Older Relatives in a Care Facility	Int J Aging Hum Dev. 2024 Jun;98(4):484-498. doi: 10.1177/00914150231194241. Epub 2023 Aug 10.	Original Article
24	Matsushima H.; Soyama A.; Hara T,et al.	肝胆膵外科・肝移植外科(第二外科)	Outcomes of living donor liver transplant recipients receiving grafts with the graft-To-recipient weight ratio less than 0.6%: A matched pair analysis	Liver Transpl. 2024 May 1;30(5):519-529. doi: 10.1097/LVT.0000000000000276. Epub 2023 Oct 4.	Original Article
25	Saruwatari S.; Takada M.; Mutoh J,et al.	薬品分析化学	LC-MS/MS analysis of components in smoke from e-cigarettes that use guarana extract as the caffeine source	Anal Sci. 2024 May;40(5):959-963. doi: 10.1007/s44211-024-00535-5. Epub 2024 Mar 20.	Original Article
26	Abdellatif M.; Abozaid A.A.F.; Shah P.S,et al.	熱帯医学・グローバルヘルス系	Efficacy and safety of fenofibrate in combination with phototherapy for the treatment of neonatal hyperbilirubinemia: a systematic review and meta-analyses	Can J Physiol Pharmacol. 2024 Apr 1;102(4):242-253. doi: 10.1139/cjpp-2023-0213. Epub 2023 Nov 27.	Original Article
27	Narahara S.; Morita Y.; Shido R,et al.	口腔顎顔面外科学	Comparison of the skeletal stability after mandibular counter-clockwise rotation in three surgical procedures	Odontology. 2024 Apr;112(2):640-646. doi: 10.1007/s10266-023-00860-7. Epub 2023 Oct 25.	Original Article
28	Takamura Y.; Tominaga T.; Nonaka T,et al.	大腸・肛門外科(第一外科)	Impact of institutional volume on short- and long-term outcomes after laparoscopic colectomy	Asian J Endosc Surg. 2024 Apr;17(2):e13295. doi: 10.1111/ases.13295.2024 Feb 27	Original Article
29	Tominaga T.; Nonaka T.; Hashimoto S,et al.	大腸・肛門外科(第一外科)	Correlations of age with clinicopathological features, perioperative outcomes and the prognosis in patients with colorectal cancer: a Japanese multicenter study	Surg Today. 2024 Apr;54(4):310-316. doi: 10.1007/s00595-023-02724-7. Epub 2023 Jul 14.	Original Article
30	Nakamura Y.; Horie I.; Kitamura T,et al.	リウマチ・膠原病内科学	Glucagon secretion and its association with glycaemic control and ketogenesis during sodium-glucose cotransporter 2 inhibition by ipragliflozin in people with type 1 diabetes: Results from the multicentre, open-label, prospective study	Diabetes Obes Metab. 2024 May;26(5):1605-1614. doi: 10.1111/dom.15458. Epub 2024 Jan 22.	Original Article
31	Nishiwaki S.; Sugiura I.; Fujisawa S,et al.	原爆・ヒバクシャ医療	Utility of allogeneic stem cell transplantation for adult Ph+ALL with complete molecular remission	Am J Hematol. 2024 May;99(5):806-815. doi: 10.1002/ajh.27237. Epub 2024 Feb 5.	Original Article

32	Maeda T.; Matsuda A.; Kanda J,et al.	原爆・ヒバクシャ医療	Clinical impact and characteristics of erythroid dysplasia in adult aplastic anaemia: Results from a multicentre registry	Br J Haematol. 2024 May;204(5):2086–2096. doi: 10.1111/bjh.19323. Epub 2024 Jan 31.	Original Article
33	Nakanishi S.; Fukushima Y.; Inokuchi J,et al.	泌尿器科学	Clinicopathological characteristics of adrenocortical carcinoma in the Kyushu–Okinawa area of Japan	Int J Urol. 2024 May;31(5):484–491. doi: 10.1111/iju.15386. Epub 2024 Jan 9.	Original Article
34	Mi-ichi F.; Hamano S.; Yoshida H	病原体解析	Links between cholesteryl sulfate-dependent and –independent processes in the morphological and physiological changes of Entamoeba encystation	Parasitol Int. 2024 Apr;99:102844. doi: 10.1016/j.parint.2023.102844 . Epub 2023 Dec 14.	Review
35	Koga S.; Takazono T.; Namie H,et al.	呼吸器内科	Human γ 9V δ 2 T cells exhibit antifungal activity against <i>Aspergillus fumigatus</i> and other filamentous fungi	Microbiol Spectr. 2024 Apr 2;12(4):e0361423. doi: 10.1128/spectrum.03614–23. Epub 2024 Mar 1.	Original Article
36	Domon H.; Hirayama S.; Isono T,et al.	病態解析・診断学	Lipoprotein signal peptidase-deficient <i>Streptococcus pneumoniae</i> exhibits impaired Toll-like receptor 2-stimulatory activity	Microbiol Immunol. 2024 Apr;68(4):155–159. doi: 10.1111/1348-0421.13117. Epub 2024 Feb 4.	Original Article
37	Nemoto T.K.; Nishimata H.; Shirakura K,et al.	口腔分子生化学	Potential elevation of exopeptidase activity of Glu-specific endopeptidase I/GluV8 mediated by hydrophobic P1' –position amino acid residue	Biochimie. 2024 May;220:99–106. doi: 10.1016/j.biochi.2023.12.010. Epub 2023 Dec 28.	Original Article
38	Tobias A.; Kim Y.; Madaniyazi L.	熱帯医学・グローバルヘルス系	Time-stratified case-crossover studies for aggregated data in environmental epidemiology: a tutorial	Int J Epidemiol. 2024 Feb 14;53(2):dyae020. doi: 10.1093/ije/dyae020.	Original Article
39	Yokomizo A.; Shiota M.; Morokuma F. et al.	泌尿器科学	GnRH antagonist monotherapy versus a GnRH agonist plus bicalutamide for advanced hormone-sensitive prostate cancer; KYUCOG-1401	Int J Urol. 2024 Apr;31(4):362–369. doi: 10.1111/iju.15371. Epub 2023 Dec 26.	Original Article
40	Imakhanova A.; Matsuda N.; Takamura N,et al.	放射線リスク制御	Radiation Exposure Characteristics among Healthcare Workers: Before and after Japan's Ordinance Revision	Health Phys. 2024 Apr 1;126(4):207–215. doi: 10.1097/HP.0000000000001793. Epub 2024 Jan 30.	Original Article
41	Hattori M.; Honma N.; Nagai S,et al.	病理診断科・病理部	Trastuzumab deruxtecan for human epidermal growth factor receptor 2-low advanced or metastatic breast cancer: recommendations from the Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines	Breast Cancer. 2024 May;31(3):335–339. doi: 10.1007/s12282-024-01550-0. Epub 2024 Mar 4.	Original Article

42	Honda A.; Liu Y.; Ono M,et al.	看護学	Impact of visitation restrictions on the mental health of family caregivers during the COVID-19 pandemic: A mixed methods study	J Adv Nurs. 2024 Apr;80(4):1652-1665. doi: 10.1111/jan.15918. Epub 2023 Oct 30.	Original Article
43	Inoue T.; Takase R.; Uchida K,et al.	ゲノム機能解析	The c.1617del variant of TMEM260 is identified as the most frequent single gene determinant for Japanese patients with a specific type of congenital heart disease	J Hum Genet. 2024 May;69(5):215-222. doi: 10.1038/s10038-024-01225-w. Epub 2024 Feb 26.	Original Article
44	Yano T.; Hayashi Y.; Ishihara R,et al.	消化器内科	Remarkable response as a new indicator for endoscopic evaluation of local efficacy of non-surgical treatments for esophageal cancer	Esophagus. 2024 Apr;21(2):85-94. doi: 10.1007/s10388-024-01043-1. Epub 2024 Feb 14.	Review
45	Dochi H.; Kondo S.; Komura S. et al.	病原体解析	Peritumoral SPARC expression induced by exosomes from nasopharyngeal carcinoma infected Epstein-Barr virus: A poor prognostic marker	Int J Cancer. 2024 Mar 1;154(5):895-911. doi: 10.1002/ijc.34777. Epub 2023 Oct 31.	Original Article
46	Al-Omari F.A.; Kuroshima S.; Uto Y,et al.	口腔インプラント学	Effect of intraoral administration of parathyroid hormone on osseous and soft tissue healing around implants in ovariectomized rat maxillae	Clin Oral Implants Res. 2024 Mar;35(3):305-320. doi: 10.1111/clr.14227. Epub 2023 Dec 21.	Original Article
47	Yamanaka T.; Castro M.C.; Ferrer J.P,et al.	熱帯医学・グローバルヘルス系	Comparing disease specific catastrophic cost estimates using longitudinal and cross-sectional designs: The example of tuberculosis	Soc Sci Med. 2024 Mar;344:116631. doi: 10.1016/j.socscimed.2024.116631. Epub 2024 Jan 29.	Original Article
48	Akahoshi K.; Shindoh J.; Tanabe M,et al.	移植・消化器外科学	Questionnaire survey of Japanese board-certified expert hepatobiliary and pancreatic surgeons and instructors on the surgical indications for hepatocellular carcinoma	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Mar;31(3):143-151. doi: 10.1002/jhbp.1408. Epub 2023 Dec 26.	Original Article
49	Hanada M.; Ishimatsu Y.; Sakamoto N,et al.	臨床感染症学	Platypnoea-orthodeoxia syndrome in COVID-19 pneumonia patients: An observational study	Respir Investig. 2024 Mar;62(2):291-294. doi: 10.1016/j.resinv.2024.01.006. Epub 2024 Jan 28.	Original Article
50	Jiang L.; Li X.-Y.; Lu Z.-C,et al.	口腔インプラント学	Er:YAG laser settings for debonding zirconia restorations: An in vitro study	J Mech Behav Biomed Mater. 2024 Mar;151:106331. doi: 10.1016/j.jmbbm.2023.106331. Epub 2023 Dec 20.	Original Article
51	Fukuda Y.; Horita N.; Aga M,et al.	呼吸器内科学	Efficacy and safety of macrolide therapy for adult asthma: A systematic review and meta-analysis	Respir Investig. 2024 Mar;62(2):206-215. doi: 10.1016/j.resinv.2023.12.015. Epub 2024 Jan 10.	Review
52	Shibaki R.; Fujimoto D.; Nozawa T,et al.	情報病理学	Machine learning analysis of pathological images to predict 1-year progression-free survival of immunotherapy in patients with small-cell lung cancer	J Immunother Cancer. 2024 Feb 15;12(2):e007987. doi: 10.1136/jitc-2023-007987.	Original Article

53	Matsushita Y.; Liu J.; Chu A.K.Y,et al.	細胞生物学	Endosteal stem cells at the bone–blood interface: A double–edged sword for rapid bone formation: Bone marrow endosteal stem cells provide a robust source of bone–making osteoblasts both in normal and abnormal bone formation.	Bioessays. 2024 Mar;46(3):e2300173. doi: 10.1002/bies.202300173. Epub 2023 Dec 31.	Original Article
54	Yamanishi R.; Yotsukura E.; Hanyuda A,et al.	公衆衛生学	Relation between a history of glaucoma and subjective happiness: the JPHC–Next study	BMJ Open Ophthalmol. 2024 Feb 19;9(1):e001553. doi: 10.1136/bmjophth-2023-001553.	Original Article
55	Sueta D.; Yamashita Y.; Morimoto T,et al.	脳卒中・心臓病等総合支援センター	The impact of renal function on clinical outcomes of patients with cancer–associated isolated distal deep vein thrombosis: Insights from the ONCO DVT study	Thromb Res. 2024 Mar;235:107–115. doi: 10.1016/j.thromres.2024.01.021. Epub 2024 Feb 2.	Original Article
56	Nagaoka K.; Iwanaga N.; Takegoshi Y,et al.	病態解析・診断学	Mortality risk factors and fulminant sub–phenotype in anaerobic bacteremia: a 10–year retrospective, multicenter, observational cohort study	Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2024 Mar;43(3):459–467. doi: 10.1007/s10096-023-04743-1. Epub 2024 Jan 3.	Original Article
57	Miyata J.; Muraki I.; Iso H,et al.	離島・へき地医療学講座	Sleep duration, its change, and risk of dementia among Japanese: The Japan Public Health Center–based Prospective Study	Prev Med. 2024 Mar;180:107884. doi: 10.1016/j.jpmed.2024.107884. Epub 2024 Feb 2.	Original Article
58	Tsukiboshi Y.; Noguchi A.; Horita H,et al.	細胞生物学	Let–7c–5p associate with inhibition of phenobarbital–induced cell proliferation in human palate cells	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Feb 12;696:149516. doi: 10.1016/j.bbrc.2024.149516. Epub 2024 Jan 14.	Original Article
59	Nonaka F.; Fukui S.; Michitsuji T,et al.	離島・へき地医療学講座	The impact of glucocorticoid use on the outcomes of rheumatoid arthritis in a multicenter ultrasound cohort study	Int J Rheum Dis. 2024 Mar;27(3):e15118. doi: 10.1111/1756-185X.15118.	Original Article
60	Kobayashi S.; Kanetaka K.; Yoneda A,et al.	脳卒中・心臓病等総合支援センター	Cancer–associated venous thromboembolism in the direct oral anticoagulants era: Insight from the COMMAND VTE Registry–2	Thromb Res. 2024 Feb;234:86–93. doi: 10.1016/j.thromres.2023.12.016. Epub 2024 Jan 2.	Original Article
61	Chatani R.; Yamashita Y.; Morimoto T,et al.	臨床研究	Role of pre–existing immunity in driving the dengue virus serotype 2 genotype shift in the Philippines: A retrospective analysis of serological data	Int J Infect Dis. 2024 Feb;139:59–68. doi: 10.1016/j.ijid.2023.11.025. Epub 2023 Nov 27.	Original Article
62	Balingit J.C.; Dimamay M.P.S.; Suzuki R,et al.	臨床研究	Seasonality of mortality under climate change: a multicountry projection study	Lancet Planet Health. 2024 Feb;8(2):e86–e94. doi: 10.1016/S2542-5196(23)00269-3.	Original Article

63	Madaniyazi L.; Armstrong B.; Tobias A,et al.	細胞療法部	Hematopoietic stem cell transplantation from haploidentical offspring donors using post-transplant cyclophosphamide versus human leukocyte antigen-matched siblings in older patients with myelodysplastic syndrome	Am J Hematol. 2024 Feb;99(2):E42-E45. doi: 10.1002/ajh.27160. Epub 2023 Nov 15.	Original Article
64	Shimomura Y.; Kitamura T.; Konuma T,et al.	光学医療診療部	An Analysis of Delayed Bleeding in Cases of Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection Due to Types of Direct Oral Anticoagulants in Japan	Clin Gastroenterol Hepatol. 2024 Feb;22(2):271-282.e3. doi: 10.1016/j.cgh.2023.09.012. Epub 2023 Sep 22.	Letter
65	Yoshida N.; Hayashi Y.; Togo D,et al.	細胞療法部	The prognosis and risk factors for patients with complex karyotype myelodysplastic syndrome undergoing allogeneic haematopoietic stem cell transplantation	Br J Haematol. 2024 Feb;204(2):612-622. doi: 10.1111/bjh.19139. Epub 2023 Oct 19.	Original Article
66	Shimomura Y.; Komukai S.; Kitamura T,et al.	内臓機能生理学	Bone marrow stromal cell antigen-1 deficiency protects from acute kidney injury	Am J Physiol Renal Physiol. 2024 Feb 1;326(2):F167-F177. doi: 10.1152/ajprenal.00175.2023. Epub 2023 Nov 16.	Original Article
67	Inoue T.; Umene R.; Sung S.-S.J,et al.	分子硬組織生物学	Runx2 Regulates Galnt3 and Fgf23 Expressions and Galnt3 Decelerates Osteoid Mineralization by Stabilizing Fgf23	Int J Mol Sci. 2024 Feb 14;25(4):2275. doi: 10.3390/ijms25042275.	Original Article
68	Jiang Q.; Qin X.; Moriishi Tet al.	血液内科	Clinicopathological comparison between PTCL-TBX21 and PTCL-GATA3 in Japanese patients	Cancer Med. 2024 Feb;13(3):e6793. doi: 10.1002/cam4.6793. Epub 2024 Jan 17.	Original Article
69	Shimasaki Y.; Miyoshi H.; Kawamoto K,et al.	看護学	Real-world data of MDS and CMML in Japan: results of JALSG clinical observational study-11 (JALSG-CS-11)	Int J Hematol. 2024 Feb;119(2):130-145. doi: 10.1007/s12185-023-03686-9. Epub 2023 Dec 13.	Original Article
70	Usuki K.; Ohtake S.; Honda S,et al.	産科婦人科	Establishment of a novel human T-cell leukemia virus type 1 infection model using cell-free virus	J Virol. 2024 Feb 20;98(2):e0186223. doi: 10.1128/jvi.01862-23. Epub 2024 Jan 31.	Original Article
71	Nagata K.; Tezuka K.; Kuramitsu M,et al.	病態解析・診断学	Rapid increase in salivary IgA and broad recognition of spike protein following SARS-CoV-2 vaccination	Virus Res. 2024 Jan 2;339:199294. doi: 10.1016/j.virusres.2023.199294. Epub 2023 Dec 6.	Original Article
72	Ota K.; Sakai H.; Sasaki D,et al.	アジア・アフリカ感染症研究施設	Pre-existing cross-reactive neutralizing activity against SARS-CoV-2 and seasonal coronaviruses prior to the COVID-19 pandemic (2014-2019) with limited immunity against recent emerging SARS-CoV-2 variants, Vietnam	Int J Infect Dis. 2024 Feb;139:109-117. doi: 10.1016/j.ijid.2023.11.008. Epub 2023 Nov 19.	Original Article

73	Nguyen T.T.N.; Choo E.M.; Nakamura Y,et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	A manual of Eustachian tube function tests—illustration of representative test results obtained from healthy subjects and typical disorders with suggestion of the appropriate test method of choice	Auris Nasus Larynx. 2024 Feb;51(1):206–213. doi: 10.1016/j.anl.2023.06.005. Epub 2023 Jul 5.	Original Article
74	Ikeda R.; Ohta S.; Yoshioka S,et al.	呼吸器内科学	High attenuation mucus in bronchi with allergic bronchopulmonary mycosis	Mycoses. 2024 Feb;67(2):e13705. doi: 10.1111/myc.13705.	Review
75	Hattori S.; Oguma T.; Ishiguro T,et al.	病原体解析	Suppression of dengue virus replication by the French maritime pine extract Pycnogenol®	Virus Res. 2024 Jan 2;339:199244. doi: 10.1016/j.virusres.2023.199244. Epub 2023 Oct 25.	Original Article
76	Hossain K.A.; Akhter R.; Rashid M.H.O,et al.	分子標的医学	Dysfunction of poly (ADP-ribose) glycohydrolase suppresses osteoclast differentiation in RANKL-stimulated RAW264 cells	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Jan 15;692:149309. doi: 10.1016/j.bbrc.2023.149309. Epub 2023 Nov 25.	Original Article
77	Sasaki Y.; Nakatsuka R.; Inoue A,et al.	臨床研究センター	Effectiveness of BNT162b2 Against Infection, Symptomatic Infection, and Hospitalization Among Older Adults Aged ≥65 Years During the Delta Variant Predominance in Japan: The VENUS Study	J Epidemiol. 2024 Jun 5;34(6):278–285. doi: 10.2188/jea.JE20230106. Epub 2024 Jan 31.	Original Article
78	Mimura W.; Ishiguro C.; Terada-Hirashima J,et al.	歯周歯内治療学	Profile of Nagasaki Islands Study (NaIS): A Population-based Prospective Cohort Study on Multi-disease	J Epidemiol. 2024 May 5;34(5):254–263. doi: 10.2188/jea.JE20230079. Epub 2023 Dec 28.	Original Article
79	Miyata J.; Yamanashi H.; Kawashiri S.-Y,et al.	循環器内科学	Role of Small Dense Low-density Lipoprotein Cholesterol in Cardiovascular Events in Patients with Coronary Artery Disease and Type 2 Diabetes Mellitus Receiving Statin Treatment	J Atheroscler Thromb. 2024 Apr 1;31(4):478–500. doi: 10.5551/jat.64416. Epub 2023 Nov 3.	Original Article
80	Yamaji T.; Harada T.; Kajikawa M,et al.	呼吸器内科学	Role of CD38 in anti-tumor immunity of small cell lung cancer	Front Immunol. 2024 Mar 12;15:1348982. doi: 10.3389/fimmu.2024.1348982. eCollection 2024.	Original Article
81	Taniguchi H.; Chavan S.S.; Chow A,et al.	臨床感染症学	Efficacy of Intrathecal Isoniazid and Steroid Therapy in Refractory Tuberculous Meningitis	Intern Med. 2024 Feb 15;63(4):583–586. doi: 10.2169/internalmedicine.1917-23. Epub 2023 Jun 21.	Original Article
82	Ashizawa N.; Kubo R.; Tagawa R,et al.	臨床研究	Effectiveness of primary series, first, and second booster vaccination of monovalent mRNA COVID-19 vaccines against symptomatic SARS-CoV-2 infections and severe diseases during the SARS-CoV-2 omicron BA.5 epidemic in Japan: vaccine effectiveness real-time surveillance for SARS-CoV-2 (VERSUS)	Expert Rev Vaccines. 2024 Jan-Dec;23(1):213–225. doi: 10.1080/14760584.2024.2310807. Epub 2024 Feb 8.	Original Article

83	Maeda H.; Saito N.; Igarashi A,et al.	高度救命救急センター	How to improve planetary health: Devising the 'Planetary Health Approach' from the biogeochemical flow perspectives	J Glob Health. 2024 Feb 23;14:03014. doi: 10.7189/jogh.14.03014.	Original Article
84	Aoki Y.; Miyagi A.; Toyokawa A,et al.	公衆衛生学	Impact of COVID-19 vaccination status on hospitalization and disease severity: A descriptive study in Nagasaki Prefecture, Japan	Hum Vaccin Immunother. 2024 Dec 31;20(1):2322795. doi: 10.1080/21645515.2024.2322795. Epub 2024 Mar 22.	Original Article
85	Cai G.; Liu S.; Lu Y,et al.	口腔インプラント学	Influence of ambient light conditions on intraoral scanning: A systematic review	J Prosthodont Res. 2024 Apr 8;68(2):237-245. doi: 10.2186/jpr.JPR_D_23_00098. Epub 2023 Aug 11.	Original Article
86	Ma Y.; Guo Y.-Q.; Saleh M.Q,et al.	臨床研究センター	Diagnostic challenges of the idiopathic plasmacytic lymphadenopathy (IPL) subtype of idiopathic multicentric Castleman disease (iMCD): Factors to differentiate from IgG4-related disease	J Clin Pathol. 2024 Feb 20;jcp-2023-209280. doi: 10.1136/jcp-2023-209280. Online ahead of print.	Review
87	Nishikori A.; Nishimura M.F.; Fajgenbaum D.C,et al.	分子標的医学研究センター	Similarity scores of vibrational spectra reveal the atomistic structure of pentapeptides in multiple basins	Phys Chem Chem Phys. 2024 Mar 27;26(13):9906-9914. doi: 10.1039/d4cp00064a.	Original Article
88	Otaki H.; Ishiuchi S.-I.; Fujii M,et al.	病態解析・診断学	Influence of the coronavirus infectious disease 2019 pandemic on infectious disease practice and infection control in Japan: A web questionnaire survey	J Infect Chemother. 2024 Jan;30(1):1-6. doi: 10.1016/j.jiac.2023.09.018. Epub 2023 Sep 16.	Original Article
89	Mori N.; Mikamo H.; Mukae H,et al.	臨床疫学	Anti-HTLV-1 immunity combined with proviral load as predictive biomarkers for adult T-cell leukemia-lymphoma	Cancer Sci. 2024 Jan;115(1):310-320. doi: 10.1111/cas.15997. Epub 2023 Nov 10.	Original Article
90	Yamada A.; Yasunaga J.-I.; Liang L,et al.	原爆・ヒバクシャ医療	Outcomes of transplant-eligible patients with myelodysplastic syndrome with excess blasts registered in an observational study: The JALSG-CS11-MDS-SCT	Ann Hematol. 2024 Jan;103(1):307-320. doi: 10.1007/s00277-023-05527-5. Epub 2023 Nov 8.	Original Article
91	Nakagawa N.; Ishiyama K.; Usuki K ,et al.	原爆・ヒバクシャ医療	Real-world data of AML in Japan: results of JALSG clinical observational study-11 (JALSG-CS-11)	Int J Hematol. 2024 Jan;119(1):24-38. doi: 10.1007/s12185-023-03677-w. Epub 2023 Nov 28.	Original Article
92	Usuki K.; Ohtake S.; Honda S,et al.	原爆・ヒバクシャ医療	Correction: Practice recommendation for measuring washout rates in 123I-BMIPP fatty acid images (Annals of Nuclear Medicine, (2024), 38, 1, (1-8), 10.1007/s12149-023-01863-8)	Ann Nucl Med. 2024 Jan;38(1):9. doi: 10.1007/s12149-023-01880-7.	Original Article

93	Tsukiboshi Y.; Horita H.; Mikami Y,et al.	細胞生物学	Involvement of microRNA- 4680-3p against phenytoin- induced cell proliferation inhibition in human palate cells	J Toxicol Sci. 20241-8. doi: 10.2131/jts.49.1.	Letter
94	Michitsuji T.; Fukui S.; Morimoto S,et al.	医療教育開発センター(医科)	Clinical and ultrasound features of difficult-to-treat rheumatoid arthritis: A multicenter RA ultrasound cohort study	Scand J Rheumatol. 2024 Mar;53(2):123-129. doi: 10.1080/03009742.2023.227 7542. Epub 2023 Dec 12.	Original Article
95	Hyuga A.; Ouma P.; Matharu A.K,et al.	環境医学	Myth or truth: investigation of the jumping ability of Tunga penetrans (Siphonaptera:Tungidae)	J Med Entomol. 2024 Jan 12;61(1):261-265. doi: 10.1093/jme/tjad143.	Original Article
96	Kimoto S.; Kawai Y.; Suzuki A,et al.	口腔管理センター	Effect of denture adhesives on masticatory performance: Multicenter randomized controlled trial	J Prosthodont Res. 2024 Jan 16;68(1):132-138. doi: 10.2186/jpr.JPR_D_22_00105. Epub 2023 Jun 13.	Original Article
97	Nakashima M.; Tanaka Y.; Okamura H,et al.	皮膚病態学	Development of Innate- Immune-Cell-Based Immunotherapy for Adult T- Cell Leukemia-Lymphoma	Cells. 2024 Jan 10;13(2):128. doi: 10.3390/cells13020128.	Original Article
98	Takeda D.; Kurita H.; Kashima Y,et al.	口腔保健学	Is withdrawal of antiresorptive agents necessary before and after tooth extraction? A systematic review	Clin Oral Investig. 2023 Dec 27;28(1):38. doi: 10.1007/s00784-023- 05462-9.	Review
99	Yamanaka T.; Castro M.C.; Ferrer J.P,et al.	熱帯医学・グローバルヘルス系	Costs incurred by people with co-morbid tuberculosis and diabetes and their households in the Philippines	PLoS One. 2024 Jan 25;19(1):e0297342. doi: 10.1371/journal.pone.029734 2. eCollection 2024.	Original Article
100	Suiko M.; Mizukami S.; Arima K,et al.	公衆衛生学	Association between physical performance and bone mass in community-dwelling postmenopausal Japanese women: The Unzen study	PLoS One. 2024 Jan 2;19(1):e0296457. doi: 10.1371/journal.pone.029645 7. eCollection 2024.	Original Article
101	Harada Y.; Iwashita H.; Moriyasu T,et al.	熱帯グローバル・研究科	The current status of neglected tropical diseases in Japan: A scoping review	PLoS Negl Trop Dis. 2024 Jan 2;18(1):e0011854. doi: 10.1371/journal.pntd.001185 4. eCollection 2024 Jan.	Original Article
102	Min J.; Kang D.-H.; Kang C,et al.	熱帯医学・グローバルヘルス系	Fluctuating risk of acute kidney injury-related mortality for four weeks after exposure to air pollution: A multi-country time-series study in 6 countries	Environ Int. 2024 Jan;183:108367. doi: 10.1016/j.envint.2023.10836 7. Epub 2023 Dec 2.	Original Article
103	Lin X.; Tong X.; Chen Y,et al.	口腔インプラント学	The activity, distribution, and colocalization of cathepsin K and matrix metalloproteases in intact and eroded dentin	Clin Oral Investig. 2023 Dec 20;28(1):1. doi: 10.1007/s00784-023- 05393-5.	Original Article

104	Sato S.; Katsuta T.; Kawazoe Y, et al.	臨床研究センター	Immune thrombocytopenic purpura and Guillain-Barré syndrome after 23-valent pneumococcal polysaccharide vaccination in Japan: The vaccine effectiveness, networking, and universal safety (VENUS) study	Vaccine. 2024 Jan 1;42(1):4-7. doi: 10.1016/j.vaccine.2023.11.053. Epub 2023 Dec 2.	Original Article
105	Murayama H.; Endo A.; Yonekura S.	熱帯医学・グローバルヘルス系	Estimation of waning vaccine effectiveness from population-level surveillance data in multi-variant epidemics	Epidemics. 2023 Dec;45:100726. doi: 10.1016/j.epidem.2023.100726. Epub 2023 Nov 4.	Original Article
106	Taniguchi D.; Kamata S.; Rostami S, et al.	呼吸器外科(第一外科)	Evaluation of a decellularized bronchial patch transplant in a porcine model	Sci Rep. 2023 Dec 8;13(1):21773. doi: 10.1038/s41598-023-48643-y.	Original Article
107	Liu M.; Taira Y.; Matsuo M, et al.	放射線リスク制御	Temporal variation in environmental radioactivity and radiation exposure doses in the restricted areas around the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant	Sci Rep. 2023 Dec 18;13(1):22459. doi: 10.1038/s41598-023-49821-8.	Original Article
108	Lami K.; Ota N.; Yamaoka S, et al.	腫瘍外科学	Standardized Classification of Lung Adenocarcinoma Subtypes and Improvement of Grading Assessment Through Deep Learning	Am J Pathol. 2023 Dec;193(12):2066-2079. doi: 10.1016/j.ajpath.2023.07.002. Epub 2023 Aug 5.	Original Article
109	Terada C.; Oh K.; Tsubaki R, et al.	機能性分子化学	Dynamic and static control of the off-target interactions of antisense oligonucleotides using toehold chemistry	Nat Commun. 2023 Dec 2;14(1):7972. doi: 10.1038/s41467-023-43714-0.	Original Article
110	Pillay M.T.; Minakawa N.; Kim Y, et al.	環境医学	Utilizing a novel high-resolution malaria dataset for climate-informed predictions with a deep learning transformer model	Sci Rep. 2023 Dec 28;13(1):23091. doi: 10.1038/s41598-023-50176-3.	Original Article
111	Nguyen D.A.; Alagbo H.O.; Hassan T.A, et al.	熱帯医学・グローバルヘルス系	Vaccine acceptance, determinants, and attitudes toward vaccine among people experiencing homelessness: a systematic review and meta-analysis	BMC Infect Dis. 2023 Dec 15;23(1):880. doi: 10.1186/s12879-023-08878-6.	Original Article
112	Nakamura A.; Matsumura T.; Ogata K, et al.	小児科	Natural history of Becker muscular dystrophy: a multicenter study of 225 patients	Ann Clin Transl Neurol. 2023 Dec;10(12):2360-2372. doi: 10.1002/acn3.51925. Epub 2023 Oct 26.	Original Article
113	Kibe M.; Mizuno Y.; Masuoka H, et al.	公衆衛生看護学	Transition to a market economy and chronic psychosocial stress in northern Laos: An exploratory study of urinary free cortisol in rural residents	Am J Hum Biol. 2024 Jan;36(1):e23976. doi: 10.1002/ajhb.23976. Epub 2023 Aug 14.	Original Article
114	Penetra S.L.S.; Santos H.F.P.; Resende P.C, et al.	熱帯医学・グローバルヘルス系	SARS-CoV-2 Reinfection Cases in a Household-Based Prospective Cohort in Rio de Janeiro	J Infect Dis. 2023 Dec 20;228(12):1680-1689. doi: 10.1093/infdis/jiad336.	Original Article

115	Kuramitsu M.; Momose H.; Uchida,et al.	産科婦人科学	Performance evaluation of Espline HTLV-1/II, a newly developed rapid immunochromatographic antibody test for different diagnostic situations	Microbiol Spectr. 2023 Dec 12;11(6):e0207823. doi: 10.1128/spectrum.02078-23. Epub 2023 Nov 15.	Original Article
116	Iwagami M.; Seol J.; Hiei T,et al.	総合診療科	Association between electroencephalogram-based sleep characteristics and physical health in the general adult population	Sci Rep. 2023 Dec 8;13(1):21545. doi: 10.1038/s41598-023-47979-9.	Original Article
117	Urakawa T.; Sano S.; Kawashima S,et al.	小児科学	(Epi)genetic and clinical characteristics in 84 patients with pseudohypoparathyroidism type 1B	Eur J Endocrinol. 2023 Dec 6;189(6):590-600. doi: 10.1093/ejendo/lvad163.	Original Article
118	Yamada Y.; Kitamura M.; Inayama E,et al.	血液浄化療法部	Acoustic stimulation for relieving pain during venipuncture: A systematic review and network meta-analysis	BMJ Open. 2023 Dec 21;13(12):e077343. doi: 10.1136/bmjopen-2023-077343.	Original Article
119	Iwashita H.; Kawabata Y.; Hayashi H,et al.	情報病理学	Frequency of subclinical interstitial lung disease in COVID-19 autopsy cases: potential risk factors of severe pneumonia	BMC Pulm Med. 2023 Oct 27;23(1):408. doi: 10.1186/s12890-023-02692-1.	Original Article
120	Tanaka T.; Kakiuchi S.; Tashiro M,et al.	感染制御教育センター	Adherence to recommended vaccination policies for pre- and post-solid organ transplantation patients: A national questionnaire survey in Japan	Vaccine. 2023 Dec 18;41(52):7682-7688. doi: 10.1016/j.vaccine.2023.11.033. Epub 2023 Nov 25.	Original Article
121	Okamoto M.; Fujimoto K.; Johkoh T,et al.	呼吸器内科学	A prospective cohort study of periostin as a serum biomarker in patients with idiopathic pulmonary fibrosis treated with nintedanib	Sci Rep. 2023 Dec 27;13(1):22977. doi: 10.1038/s41598-023-49180-4.	Original Article
122	Moriishi T.; Kawai Y.; Fukuyama R,et al.	細胞生物学	Bcl2l1 Deficiency in Osteoblasts Reduces the Trabecular Bone Due to Enhanced Osteoclastogenesis Likely through Osteoblast Apoptosis	Int J Mol Sci. 2023 Dec 10;24(24):17319. doi: 10.3390/ijms242417319.	Original Article
123	Uemura T.; Kenmotsu H.; Hazama D,et al.	呼吸器内科	Liquid biopsy detects genomic drivers in NSCLC without EGFR mutations by single-plex testing: WJOG13620L	Cancer Med. 2023 Dec;12(23):21097-21110. doi: 10.1002/cam4.6668. Epub 2023 Nov 10.	Original Article

124	Konuma T.; Itonaga H.; Shimomura Y,et al.	細胞療法部	Single-unit unrelated cord blood transplantation versus HLA-matched sibling transplantation in adults with advanced myelodysplastic syndrome: A registry-based study from the adult MDS working group of the Japanese society for transplantation and cellular therapy	Hematol Oncol. 2024 Jan;42(1):e3217. doi: 10.1002/hon.3217. Epub 2023 Aug 18.	Original Article
125	Griem J.; Eich M.-L.; Schallenberg S,et al.	情報病理学	Artificial Intelligence-Based Tool for Tumor Detection and Quantitative Tissue Analysis in Colorectal Specimens	Mod Pathol. 2023 Dec;36(12):100327. doi: 10.1016/j.modpat.2023.100327. Epub 2023 Sep 6.	Original Article
126	Macalinao M.L.; Inoue S.-I.; Tsogtsaikhan S,et al.	免疫学	IL-27 produced during acute malaria infection regulates Plasmodium-specific memory CD4+ T cells	EMBO Mol Med. 2023 Dec 7;15(12):e17713. doi: 10.15252/emmm.202317713. Epub 2023 Oct 19.	Original Article
127	Yuan L.; Madaniyazi L.; Vicedo-Cabrera A.M,et al.	熱帯医学・グローバルヘルス系	A Nationwide Comparative Analysis of Temperature-Related Mortality and Morbidity in Japan	Environ Health Perspect. 2023 Dec;131(12):127008. doi: 10.1289/EHP12854. Epub 2023 Dec 7.	Original Article
128	Ishimaru K.; Tominaga T.; Nonaka T,et al.	大腸・肛門外科(第一外科)	Usefulness of the endoscopic surgical skill qualification system for laparoscopic colectomy for transverse colon cancer: a Japanese multicenter analysis	Langenbecks Arch Surg. 2023 Jul 10;408(1):271. doi: 10.1007/s00423-023-03008-x.	Original Article
129	Xu Y.; Li Y.; Zhai D,et al.	麻酔集中治療医学	Hyperoxia but not high tidal volume contributes to ventilator-induced lung injury in healthy mice	BMC Pulm Med. 2023 Sep 20;23(1):354. doi: 10.1186/s12890-023-02626-x.	Original Article
130	Doi H.; Furui A.; Ueda R,et al.	神経機能学	Spatiotemporal patterns of spontaneous movement in neonates are significantly linked to risk of autism spectrum disorders at 18 months old	Sci Rep. 2023 Aug 24;13(1):13869. doi: 10.1038/s41598-023-40368-2.	Original Article
131	Bikangui R.; Boussougou-Sambe S.T.; Saidou M,et al.	病原体解析	Distribution of Aedes mosquito species along the rural-urban gradient in Lambaréné and its surrounding	Parasit Vectors. 2023 Oct 12;16(1):360. doi: 10.1186/s13071-023-05901-2.	Original Article
132	Ko Y.K.; Furuse Y.; Otani K,et al.	ウイルス学	Time-varying overdispersion of SARS-CoV-2 transmission during the periods when different variants of concern were circulating in Japan	Sci Rep. 2023 Aug 14;13(1):13230. doi: 10.1038/s41598-023-38007-x.	Original Article
133	Hiramatsu H.; Yokomori R.; Shengyi L,et al.	原爆・ヒバクシャ医療	Clinical landscape of TP73 structural variants in ATL patients	Leukemia. 2023 Dec;37(12):2502-2506. doi: 10.1038/s41375-023-02059-9. Epub 2023 Oct 20.	Original Article

134	Oliveira Hashiguchi L.; Cox S.E.; Edwards T,et al.	熱帯医学・グローバルヘルス系	How can tuberculosis services better support patients with a diabetes co-morbidity? A mixed methods study in the Philippines	BMC Health Serv Res. 2023 Sep 25;23(1):1027. doi: 10.1186/s12913-023-10015-7.	Original Article
135	Otomaru H.; Nguyen H.A.T.; Vo H.M,et al.	臨床研究	A decade of human metapneumovirus in hospitalized children with acute respiratory infection: molecular epidemiology in central Vietnam, 2007-2017	Sci Rep. 2023 Sep 21;13(1):15757. doi: 10.1038/s41598-023-42692-z.	Original Article
136	Hatanaka A.; Nakada S.; Matsumoto G,et al.	組織細胞生物学	The transcription factor NRF1 (NFE2L1) activates aggrephagy by inducing p62 and GABARAP1 after proteasome inhibition to maintain proteostasis	Sci Rep. 2023 Sep 1;13(1):14405. doi: 10.1038/s41598-023-41492-9.	Original Article
137	Shichijo K.; Takatsuji T.; Uzbekov D,et al.	原爆・ヒバクシャ医療	Radiation makes cells select the form of death dependent on external or internal exposure: apoptosis or pyroptosis	Sci Rep. 2023 Jul 25;13(1):12002. doi: 10.1038/s41598-023-38789-0.	Original Article
138	Han S.M.; Robert A.; Masuda S,et al.	感染症内科	Transmission dynamics of seasonal influenza in a remote island population	Sci Rep. 2023 Apr 3;13(1):5393. doi: 10.1038/s41598-023-32537-0.	Original Article
139	Miyazaki Y.; Vos M.W.; Geurten F.J.A,et al.	宿主病態解析	A versatile Plasmodium falciparum reporter line expressing NanoLuc enables highly sensitive multi-stage drug assays	Commun Biol. 2023 Jul 12;6(1):713. doi: 10.1038/s42003-023-05078-5.	Original Article
140	Tahata Y.; Hikita H.; Mochida S,et al.	消化器内科学	Posttreatment liver function, but not baseline liver function stratifies patient survival after direct-acting antiviral treatment in decompensated cirrhosis with hepatitis C virus	J Gastroenterol. 2023 Dec;58(12):1211-1221. doi: 10.1007/s00535-023-02039-x. Epub 2023 Oct 13.	Original Article
141	Kagaya W.; Chan C.W.; Kongere J,et al.	環境医学	Evaluation of the protective efficacy of Olyset®Plus ceiling net on reducing malaria prevalence in children in Lake Victoria Basin, Kenya: study protocol for a cluster-randomized controlled trial	Trials. 2023 May 25;24(1):354. doi: 10.1186/s13063-023-07372-3.	Original Article
142	Yamada T.; Goto Y.; Tanaka H,et al.	呼吸器内科	A phase 2 trial of durvalumab treatment following radiation monotherapy in patients with non-small cell lung cancer ineligible for stage III chemoradiotherapy: The SPIRAL-RT study	Eur J Cancer. 2023 Dec;195:113373. doi: 10.1016/j.ejca.2023.113373. Epub 2023 Oct 22.	Original Article

143	Minami K.; Osawa T.; Kojima T,et al.	泌尿器科学	Efficacy and safety of axitinib for metastatic renal cell carcinoma: Real-world data on patients with renal impairment	Urol Oncol. 2023 Nov;41(11):458.e9-458.e19. doi: 10.1016/j.urolonc.2023.08.008. Epub 2023 Oct 3.	Original Article
144	Mecaskey J.; Verboom B.; Liverani M,et al.	細胞療法部	Home transfusions are implemented using diverse approaches in Japan	Vox Sang. 2023 Nov;118(11):938-946. doi: 10.1111/vox.13518. Epub 2023 Sep 6.	Original Article
145	Tanaka A.; Fujita H.; Ohashi K,et al.	移植・消化器外科学	The degree of satisfaction and level of learning in male and female surgical residents: a nationwide questionnaire survey of graduating residents in Japan	Surg Today. 2023 Nov;53(11):1275-1285. doi: 10.1007/s00595-023-02683-z. Epub 2023 May 10.	Original Article
146	Kaku N.; Urabe T.; Iida T,et al.	移植・消化器外科学	Management of Established Small-for-size Syndrome in Post Living Donor Liver Transplantation: Medical, Radiological, and Surgical Interventions: Guidelines from the ILTS-iLDLT-LTSL Consensus Conference	Transplantation. 2023 Oct 1;107(10):2238-2246. doi: 10.1097/TP.0000000000004771. Epub 2023 Sep 25.	Original Article
147	Hida K.; Hirano S.; Poudel S,et al.	リウマチ・膠原病内科学	Seasonal Influence on Development of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: A Retrospective Cohort Study Conducted at Multiple Institutions in Japan (J-CANVAS)	J Rheumatol. 2023 Sep;50(9):1152-1158. doi: 10.3899/jrheum.2023-0040. Epub 2023 Jun 1.	Original Article
148	Kirchner V.A.; Shankar S.; Victor D.W,et al.	腎臓内科	Polar vasculosis is associated with better kidney outcome in type 2 diabetes with biopsy-proven diabetic kidney disease: A multicenter cohort study	J Diabetes Investig. 2023 Nov;14(11):1268-1278. doi: 10.1111/jdi.14059. Epub 2023 Jul 22.	Original Article
149	Yoshida Y.; Nakamoto N.; Oka N,et al.	口腔外科	Correction to: Denosumab-related osteonecrosis of the jaw after tooth extraction and the effects of a short drug holiday in cancer patients: a multicenter retrospective study (Osteoporosis International, (2021), 32, 11, (2323-2333), 10.1007/s00198-021-05995-3)	Osteoporos Int. 2023 Oct;34(10):1823-1825. doi: 10.1007/s00198-023-06833-4.	Original Article
150	Shimizu M.; Furuichi K.; Toyama T,et al.	細胞療法部	Impact of HLA-mismatched unrelated transplantation in patients with adult T-cell leukemia/lymphoma	Bone Marrow Transplant. 2023 Sep;58(9):980-990. doi: 10.1038/s41409-023-02002-7. Epub 2023 May 12.	Original Article

151	Inoue Y.; Morishima S.; Kato K, et al.	原爆・ヒバクシャ医療	Guadecitabine vs treatment choice in newly diagnosed acute myeloid leukemia: A global phase 3 randomized study	Blood Adv. 2023 Sep 12;7(17):5027–5037. doi: 10.1182/bloodadvances.2023 010179.	Original Article
152	Fenaux P.; Gobbi M.; Kropf P.L, et al.	臨床研究センター	Safety and efficacy of 5- aminolevulinic acid phosphate/iron in mild-to- moderate coronavirus disease 2019: A randomized exploratory phase II trial	Medicine (Baltimore). 2023 Aug 25;102(34):e34858. doi: 10.1097/MD.00000000000034 858.	Original Article
153	Tanaka T.; Tashiro M.; Ota K, et al.	放射線リスク制御	A preliminary report on retrospective dose assessment by FISH translocation assay in FDNPP Nuclear Emergency Worker Study (NEWS)	Radiat Prot Dosimetry. 2023 Sep 18;199(14):1565–1571. doi: 10.1093/rpd/ncad053.	Original Article
154	Abe Y.; Takashima Y.; Akiyama M, et al.	循環器内科学	Reduced reactive hyperemia of the brachial artery in diabetic patients assessed by repeated measurements: The FMD-J B study	Physiol Rep. 2023 Aug;11(16):e15786. doi: 10.14814/phy2.15786.	Original Article
155	Masaki N.; Adachi T.; Tomiyama H, et al.	がん診療センター	Scoring model with serum albumin and CA19-9 for metastatic pancreatic cancer in second-line treatment: results from the NAPOLEON study	Int J Clin Oncol. 2023 Aug;28(8):1073–1081. doi: 10.1007/s10147-023- 02354-6. Epub 2023 May 20.	Original Article
156	Komori A.; Otsu S.; Shimokawa M, et al.	病態解析・診断学	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the surveillance committee of the Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for Clinical Microbiology in 2019–2020: General view of the pathogens' antibacterial susceptibility	J Infect Chemother. 2023 Aug;29(8):731–743. doi: 10.1016/j.jiac.2023.04.008. Epub 2023 Apr 26.	Original Article

1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367–9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を 諮ることを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き等について記 載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に
「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員 会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 長崎大学及び長崎大学病院には以下の指針や規程が存在する。 「長崎大学利益相反マネジメントポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反ポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」 「長崎大学病院利益相反審査委員会規程」 臨床研究利益相反審査委員会は「利益相反審査自己申告書」により利益相反の管理を行う。申 告書により利益相反があきらかな場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付された臨床研究実	

<p>施計画書に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・勧告等を行う。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップを行う。</p> <p>（「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より）</p>	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 26 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>○臨床研究に関する研修会（26回（内訳：オンライン研修会24回、現地開催2回））</p> <p>内容：研究の記録と文書保管について、臨床研究における安全性情報に関する話題-特定臨床研究を中心に、不適合・逸脱事案から押さえない！臨床研究実施における要注意ポイント、日々忙しい研究者がコスパ良く論文を書くためのTips、モニタリングについて、研究者ができる臨床研究データマネジメント、適切な研究実施のために知っておくべきこと 等</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院では、日本専門医機構に準ずる基本 19 領域のプログラムがあり、県内外の関連病院、海外の拠点病院と連携して、高度専門医療を研修できるシステムを構築している。

大学病院連携型高度医療人養成推進事業により発足した医師育成キャリア支援室では、これまで個人で専門医の資格を取るために行っていたことを、大学病院が全面的にサポートし、できるだけ短期間で効率よく専門医資格を修得できるよう、専門のコーディネーターによる支援を行っている。

歯科においては、1年の初期臨床研修に引き続き専門歯科医師の養成、地域歯科医療のリーダー育成および高齢者や有病者における全身管理を実践できる歯科医師の養成を目的として、後期臨床研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	64 人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
川上 純	リウマチ・膠原病内科	教授	39年	
阿比留 教生	内分泌・代謝内科	教授	33年	
辻野 彰	脳神経内科	教授	35年	
迎 寛	呼吸器内科	教授	39年	
西野 友哉	腎臓内科	教授	27年	
宮明 寿光	消化器内科	准教授	27年	
前村 浩二	循環器内科	教授	38年	
宮崎 泰司	血液内科	教授	38年	
有吉 紅也	感染症内科	教授	38年	
森内 浩幸	小児科	教授	40年	
室田 浩之	皮膚科・アレルギー科	教授	28年	
熊崎 博一	精神科神経科	教授	20年	
松本 桂太郎	呼吸器外科	教授	28年	
江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	教授	32年	
三浦 崇	心臓血管外科	教授	24年	
尾崎 誠	整形外科	教授	33年	
三浦 清徳	産科婦人科	教授	29年	
大石 明生	眼科	准教授	23年	
熊井 良彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	25年	
今村 亮一	泌尿器科・腎移植外科	教授	28年	
松尾 孝之	脳神経外科	教授	35年	

東家 亮	放射線科	教授	21年
原 哲也	麻酔科	教授	32年
中島 正洋	病理診断科	教授	32年
柳原 克紀	臨床検査科	教授	33年
田崎 修	救急科	教授	34年
檜山 和也	形成外科	准教授	21年
前田 隆浩	総合診療科	教授	39年
高島 英和	リハビリテーション科	教授	31年
鵜飼 孝	歯科	教授	28年
尾崎 誠	小児歯科	教授	33年
吉田 教明	矯正歯科	教授	38年
山田 朋弘	歯科口腔外科	教授	36年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器）・研修の期間・実施回数：令和5年5月24日・1回・研修の参加人数：6名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（ハイフローセラピー装置）・研修の期間・実施回数：令和5年5月24日-6月26日・4回・研修の参加人数：32名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（ハイフローセラピー装置）・研修の期間・実施回数：令和5年8月25日・1回・研修の参加人数：10名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（ハイフローセラピー装置）・研修の期間・実施回数：令和5年5月24日・1回・研修の参加人数：6名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器）・研修の期間・実施回数：令和5年8月31日・1回・研修の参加人数：15名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（ハイフローセラピー装置）・研修の期間・実施回数：令和5年10月20日・1回・研修の参加人数：8名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（中心静脈留置型経皮的体温調節装置システム）・研修の期間・実施回数：令和5年11月17日・1回・研修の参加人数：39名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（補助人工心臓） ・研修の期間・実施回数：令和5年12月14日・1回 ・研修の参加人数：34名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療機器の操作・管理研修（人工呼吸器） ・研修の期間・実施回数：令和6年1月22日・1回 ・研修の参加人数：7名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：医療安全研修会（第1回）集合研修+イントラネット動画研修 ・研修の期間・実施回数：2023年7月6日・1回 ・研修の参加人数：研修会 264人、eラーニング 2243人 計 2507人
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：各病棟看護師スタッフ等への研修講義 ・研修の期間・実施回数：2023年9月26日、2023年10月27日・合計2回 ・研修の参加人数：2023年9月26日 11名、2023年10月27日 10名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：長崎大学病院 緩和ケア研修会 ・研修の期間・実施回数：2023年11月18日・1回 ・研修の参加人数：36名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護師特定行為研修 臨床薬理学講義 ・研修の期間・実施回数：2023年9月25日～9月29日 ・研修の参加人数：10名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：NST学習会 ・研修の期間・実施回数：2023年11月6日～8日（集中講義）、2023年11月15日、16日（実習） ・研修の参加人数：15名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護師専門コース 臨床薬理学講義 ・研修の期間・実施回数：2023年10月19日・1回 ・研修の参加人数：2名

看護研修については、別紙「2023年度 看護補助者研修会」および「2023年度 継続教育プログラム」のとおり

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（人工呼吸器 前期）
- ・研修の期間・実施回数：令和5年5月25日・1回
- ・研修の参加人数：157名

- ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（閉鎖式保育器 前期）
- ・研修の期間・実施回数：令和5年6月28日・1回
- ・研修の参加人数：109名

- ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（血液浄化装置 前期）
- ・研修の期間・実施回数：令和5年7月25日・1回
- ・研修の参加人数：129名

- ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（除細動装置 前期）
- ・研修の期間・実施回数：令和5年8月1日・1回
- ・研修の参加人数：167名

- ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（人工心肺装置及び補助循環 前期）
- ・研修の期間・実施回数：令和5年9月6日・1回
- ・研修の参加人数：133名

- ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（診療用高エネルギー発生装置 前期）
- ・研修の期間・実施回数：令和5年8月2日・1回
- ・研修の参加人数：9名

- ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（診療用放射線照射装置 前期）
- ・研修の期間・実施回数：令和5年8月17日・1回
- ・研修の参加人数：11名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（人工呼吸器 後期） ・研修の期間・実施回数：令和5年11月30日・1回 ・研修の参加人数：247名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（閉鎖式保育器 後期） ・研修の期間・実施回数：令和5年12月14日・1回 ・研修の参加人数：89名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（血液浄化装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和6年1月31日・1回 ・研修の参加人数：106名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（除細動装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和6年2月1日・1回 ・研修の参加人数：135名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（人工心肺装置及び補助循環 後期） ・研修の期間・実施回数：令和6年3月14日・1回 ・研修の参加人数：126名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（診療用高エネルギー発生装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和6年2月29日・1回 ・研修の参加人数：12名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：特定機能病院における定期研修会（診療用放射線照射装置 後期） ・研修の期間・実施回数：令和6年2月29日・1回 ・研修の参加人数：12名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（線量加速器システム） ・研修の期間・実施回数：令和5年4月3日・1回 ・研修の参加人数：3名

<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（ハイフローセラピー装置）・研修の期間・実施回数：令和5年4月14日・1回・研修の参加人数：294名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（経皮血中ガス分析装置）・研修の期間・実施回数：令和5年4月27日・1回・研修の参加人数：5名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（干渉電流型低周波治療器）・研修の期間・実施回数：令和5年5月11日・1回・研修の参加人数：12名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（低周波治療器）・研修の期間・実施回数：令和5年5月11日・1回・研修の参加人数：12名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（超短波治療器）・研修の期間・実施回数：令和5年5月11日・1回・研修の参加人数：12名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（医療用照明灯）・研修の期間・実施回数：令和5年5月11日・1回・研修の参加人数：2名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（解析付心電計）・研修の期間・実施回数：令和5年5月18日・1回・研修の参加人数：6名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（放射線治療シミュレータ）・研修の期間・実施回数：令和5年5月29日、30日・2回・研修の参加人数：2名

<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（超音波診断装置）・研修の期間・実施回数：令和5年6月21日・1回・研修の参加人数：7名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（光干渉断層計）・研修の期間・実施回数：令和5年7月19日・1回・研修の参加人数：10名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（脳波計）・研修の期間・実施回数：令和5年9月14日・1回・研修の参加人数：21名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（核医学SPECT CT装置）・研修の期間・実施回数：令和5年10月12日・1回・研修の参加人数：28名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（人工呼吸器）・研修の期間・実施回数：令和5年10月12日、23日・2回・研修の参加人数：325名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（補助人工心臓駆動装置）・研修の期間・実施回数：令和5年9月28日-10月30日・5回・研修の参加人数：133名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（核医学SPECT装置）・研修の期間・実施回数：令和5年11月9日・1回・研修の参加人数：31名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（手術用顕微鏡システム）・研修の期間・実施回数：令和5年12月8日、14日・2回・研修の参加人数：7名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（質量分析装置） ・研修の期間・実施回数：令和5年12月8日-令和6年1月26日・2回 ・研修の参加人数：6名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（眼科用レーザー光凝固装置） ・研修の期間・実施回数：令和5年12月20日・1回 ・研修の参加人数：8名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（移動型X線透視診断装置） ・研修の期間・実施回数：令和5年12月26日、27日・2回 ・研修の参加人数：14名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（PCAポンプ） ・研修の期間・実施回数：令和6年1月16日-2月7日・3回 ・研修の参加人数：78名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（急速加温輸血装置） ・研修の期間・実施回数：令和6年1月18日、19日・2回 ・研修の参加人数：40名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（超音波診断装置） ・研修の期間・実施回数：令和6年2月29日・1回 ・研修の参加人数：1名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（歯科用チェアユニット） ・研修の期間・実施回数：令和6年2月26日・1回 ・研修の参加人数：37名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（歯科用チェアユニット） ・研修の期間・実施回数：令和6年2月26日・1回 ・研修の参加人数：13名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（歯科用チェアユニット） ・研修の期間・実施回数：令和6年2月26日・1回 ・研修の参加人数：19名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（人工呼吸器） ・研修の期間・実施回数：令和6年3月12日・1回 ・研修の参加人数：89名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新しい医療機器の導入時の研修（多機能心電計） ・研修の期間・実施回数：令和6年3月26日・1回 ・研修の参加人数：26名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：昇任者研修（看護師長） ・研修の期間・実施回数：3/7～3/8 ・研修の参加人数：3名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：昇任者研修（副看護師長） ・研修の期間・実施回数：3/7～3/8 ・研修の参加人数：9名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護管理者研修（看護師長、副看護師長） ・研修の期間・実施回数：6/24～6/25 ・研修の参加人数：112名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：看護職員向け看護補助者に関わる研修 看護補助者と協働する病棟運営（学研ナーシングサポート、看護管理者特別コースⅡ）、医療制度の概要および病院の機能と組織の理解（学研ナーシングサポート、看護補助者研修コース）、看護補助者業務マニュアル閲覧 ・研修の期間・実施回数 期間：約3か月間（8/2～10/31） ・研修の参加人数：83名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：新採用薬剤師研修プログラム ・研修の期間・実施回数：6ヶ月（調剤業務48回，注射薬室業務30回，抗癌剤調製6-8回，麻薬業務2回） ・研修の参加人数：7名（勤務1年目 の薬剤師）
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：薬剤管理指導業務研修 ・研修の期間・実施回数：6ヶ月、週2時間 ・研修の参加人数：7名（勤務1年目 の薬剤師）
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：休日TDM測定業務研修 ・研修の期間・実施回数：2ヶ月間、計3回 ・研修の参加人数：5名（勤務2年目 の薬剤師）
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>
<p>薬剤部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容：地域薬学care専門薬剤師（薬局薬剤師） ・研修の期間・実施回数：5年間・週1回 ・研修の参加人数：5名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

2023年度 継続教育プログラム

研修会名	開催日	テーマ	講師、担当者	院内参加者数(名)	
新採用者オリエンテーション	4月3日	看護部概要	看護部長	91	
		協会・連盟・賠償責任保険について	人事担当副看護部長	91	
		病院オリエンテーション	労務関係～就業規則・就業情報管理システムを中心に～	人事企画課主査	91
		看護部オリエンテーション	教育体制について	教育担当副看護部長	91
		情報管理	生涯学習記録ファイル・評価表・提出物の説明	看護キャリア支援室	91
	4月4日	看護部オリエンテーション	個人情報保護	医療情報部医師	91
		看護師として必要な基本姿勢と態度	社会人としての心構え	安全担当副看護部長	91
			Fish! 哲学について	安全担当副看護部長	91
			オンライン講義(ZOOM): 境遇研修	担当事業所 医療教育開発センター	91
		看護部オリエンテーション	看護提供方式について	看護師長	91
		情報管理	看護記録について	医療情報部看護師長	91
		与薬の技術	輸血管理	細胞療法部医師	91
	4月5日	安全管理・災害・防災管理	eラーニング: 防災設備・医療ガスについて	施設部施設管理課	91
		看護部オリエンテーション	学研メディカルサポートについて	看護キャリア支援室	91
		感染予防	感染管理総論	感染制御教育センター看護師長	91
			感染管理各論	感染制御教育センター医師	91
			感染管理演習	感染制御教育センター副センター長	91
		安全管理	医薬品管理各論	薬剤部准教授副薬剤部長	91
			医療機器管理総論・各論	ME機器センター副センター長	91
			医療安全総論	安全管理部看護師長	91
			医療安全演習	安全管理部部長	91
		ワークショップ	チーム医療	医療教育開発センター 看護キャリア支援室	91
	4月6日	安全管理	医療安全(転倒転落アセスメント、身体抑制、口頭指示など)	安全管理部看護師長	91
			DVD学習「みんなで考えよう医療事故防止対策！」	看護キャリア支援室	91
		与薬の技術(安全管理)	静脈注射と法的責任	安全管理部看護師長	91
		与薬の技術(感染管理)	静脈注射と感染管理	感染制御教育センター看護師長	91
		与薬の技術(薬剤管理)	薬剤の基礎知識	薬剤部准教授副薬剤部長	91
静脈注射		テスト: 薬剤の基礎知識、安全管理、感染管理	看護キャリア支援室	91	
与薬の技術		与薬管理	看護キャリア支援室	91	
		麻薬管理	薬剤部麻薬管理室室長	91	
安全管理		患者誤認防止について	安全管理部看護師長	91	
4月7日	採血の技術	採血の基礎知識	検査部 主任臨床検査技師	91	
	症状・生体機能管理技術	輸液ポンプ(FP-N15) + 輸液管理	看護キャリア支援室	91	
	症状・生体機能管理技術	シリンジポンプ	看護キャリア支援室	91	
	情報管理	電子カルテ操作研修	医療情報部、 看護キャリア支援室	91	
部署内研修	4月10日・11日	部署内研修	第1クール配属部署	91	
4月25日	物品管理	SPDについて	SPDセンター	91	
	症状・生体機能管理技術	フィジカルアセスメント(呼吸・循環)	集中ケア看護認定看護師	91	
	症状・生体機能管理技術	インスリン療法・血糖自己測定	糖尿病看護認定看護師 看護キャリア支援室	91	
	組織における役割/心構えの理解と適切な行動	スタートアップ研修～入職後1年後の目標設定～	看護キャリア支援室	91	
	組織における役割	地域医療連携センター・MSCIについて	地域医療連携センター看護師長	91	
新人看護職員	4月19日 4月20日 4月21日	電子カルテ操作研修②	・安全で確かな看護技術を提供するための電子カルテ基本操作を学ぶ	安全管理部 医療情報部 看護キャリア支援室	96
		症状・生体機能管理技術	モニター・アラームについて	医療機器担当者	91
		組織における役割/心構えの理解と適切な行動	専門看護師・認定看護師活動について	専門看護師・認定看護師会委員長	91
	組織における役割/心構えの理解と適切な行動	院内認定看護師活動について	院内認定看護師管理委員会委員長	91	
	組織における役割/心構えの理解と適切な行動	緩和ケアについて	緩和ケアセンター看護師長	91	
	組織における役割/心構えの理解と適切な行動	看護倫理の基礎知識	専門看護師・認定看護師会委員長	91	
	看護職員としての自覚と責任ある行動	特定看護師活動について	特定行為研修室看護師長	91	
	組織における役割/心構えの理解と適切な行動	地域医療連携センター・メディカルサポートセンターについて	地域医療連携センター・メディカルサポートセンター看護師長	91	
	組織における役割/心構えの理解と適切な行動	セルフマネジメントについて	精神看護専門看護師 看護キャリア支援室	91	
	組織における役割/心構えの理解と適切な行動	第1回新採用者フォローアップ研修		91	

2023年度 継続教育プログラム

研修会名	開催日	テーマ	講師、担当者	院内参加者数（名）	
新人看護職員	新採用者フォローアップ研修②	6月13日 6月21日	・同期の仲間に成功体験を話すことができる ・同期のことがわかる ・同期の仲間と交流することで、緊張・ストレスを緩和することができる ・自部署・他部署のことを知り、働きたい部署のイメージができる	看護キャリア支援室	91
	患者の状態観察と報告	5月18日 5月23日 5月25日 5月30日	・患者の状態に合わせた観察と報告ができる	看護キャリア支援室	83
	合同災害研修	6月16日 6月30日	・トリアージの基本知識を習得する ・チームワークの重要性を体験する	医療教育開発センター 看護キャリア支援室	91
	インスリン療法中の患者対応	7月5日 7月10日 7月12日 7月14日 7月24日 7月26日 7月28日 8月18日	・インスリン療法や低血糖のリスクを理解し、低血糖時の対応ができる	糖尿病看護認定看護師 看護キャリア支援室	83
	翼状針評価	8月4日 8月8日 8月9日 8月14日 8月16日 8月18日	・静脈注射を安全に実施するための知識・技術・態度を習得する	看護キャリア支援室	83
	褥瘡対策	9月8日 9月20日 9月27日	・褥瘡対策の実際を理解し、基礎的褥瘡予防・対策の知識・技術を習得する	看護キャリア支援室 褥瘡管理 褥瘡管理院内認定看護師 特定看護師：創傷管理関連他、 皮膚・排泄ケア認定看護師	91
	新採用者フォローアップ研修③	8月23日 8月30日	入職後からの6ヶ月間を振り返り、自己目標の到達状況を確認することができる 自己目標達成に向けて、今後の課題や具体的な解決方法を見出すことができる	看護キャリア支援室	90
	膀胱留置カテーテル挿入と管理評価	11月15日 11月16日 11月17日 11月20日 11月28日 11月29日	・男性膀胱内留置カテーテルの挿入と管理を安全に実施できる	看護キャリア支援室	82
	新採用者フォローアップ研修④	1月23日 1月29日	新採用者が目標に対する取り組みを語り合い、お互いに共有することで、自分の目標の達成状況や自己の成長、課題を確認し、自己の看護観を深めることができる	看護キャリア支援室	88
	留置針評価	2月7日 2月9日 2月13日 2月15日 2月16日 2月19日	静脈注射（留置針）を安全に実施できる	看護キャリア支援室	81

2023年度 継続教育プログラム

研修会名		開催日	テーマ	講師、担当者	院内参加者数(名)
ラダーIレベル	2年目看護師育成研修① ～患者さんが住み慣れた生活の場で暮らせるよう、地域で看護をつなぐために私たちができていることを考えよう～	5月10日 5月22日	・地域包括ケアシステムにおける当院の役割が理解でき、患者の思いを地域につなぐ大切さがわかる ・入退院支援は、患者が住み慣れた生活の場で暮らすための日々の看護であることが理解できる ・事例を通して、患者の入院前、退院後の生活がイメージでき、入退院支援を考慮することができる ・明日から実践する入退院支援について考えることができる	看護キャリア支援室 集中ケア看護認定看護師	61
	2年目看護師育成研修② ～看護観を深めよう～ セルフマネジメント研修	10月6日 10月13日	・自分の看護観を表現できる ・自分の看護体験に対して、意味づけができる ・リフレクションをすることで、今後実践する具体的な行動を述べる事ができる ・自己に合ったセルフケアの方法を考慮することができる	看護キャリア支援室 精神看護専門看護師	60
	2年目看護師育成研修③ ～自立した看護師に求められる能力を理解し、役割を担う準備をしよう～	1月17日 1月31日	・ラダーIIで求められる能力、役割が理解できる ・自己の社会人基礎力を高めることができる ・求められる役割を果たすための行動計画を示すことができる	看護キャリア支援室	64
	原子力災害医療看護	6月5日 11月13日	原子力災害医療の基本的知識と看護を学び実施できる	看護キャリア支援室	29
	3年目対象セルフマネジメント研修	9月12日 9月25日	・自己にあったセルフケアの方法を考慮することができる	精神看護専門看護師 看護キャリア支援室	25
ラダーIIレベル	臨床実習指導者育成研修①	オンデマンド	・コロナ禍における臨床実習の位置づけ ・看護基礎教育における臨床実習の位置づけ ・臨床実習指導者の役割	看護キャリア支援室	23
	指導者育成研修①: 新人看護職員研修制度・教育体制・院内ルール・人材育成の考え方	4月27日	・新人看護職員研修の目的を理解し、教育的な関わり方について考えることができる	看護キャリア支援室	55
	指導者育成研修②: メンタルヘルスケア	5月19日	・新人看護師が経験しやすいストレスと精神的支援および指導者が経験しやすいストレスとセルフケアを学ぶ	精神看護専門看護師 看護キャリア支援室	53
	指導者育成研修③: ティーチング・コーチング	6月9日 6月22日	・指導者としての基本的な姿勢(態度)を実践できる ・ティーチングとコーチングの使い分けが説明できる	看護キャリア支援室	54
	臨床実習指導者育成研修②	7月7日	・実習指導を意図的・計画的に実践する必要性が理解できる ・学生が主体的に学ぶための指導方法を説明できる ・臨床実習指導者としての目標設定ができる	看護キャリア支援室 長崎大学保健学科教員	22
	中心静脈カテーテル管理研修	8月25日	・中心静脈カテーテルの管理を安全に行うことができる	安全管理部 看護キャリア支援室	20
	指導者育成研修④: フィードバックの基本	10月16日 11月13日	・新人看護師に対するフィードバックの基本がわかる ・指導する意味、教育の大切さを知る	医療教育開発センター 看護キャリア支援室	53
	ドレーン管理研修	11月27日	・ドレーン管理について安全の視点から考えることができる	安全管理部 看護キャリア支援室	19
	臨床実習指導者研修③	1月25日 2月2日	・臨床実習指導を振り返り、課題について解決策を述べる事ができる	看護キャリア支援室	25
ラダーIIIレベル	中堅看護師ブラッシュアップ研修①	5月26日	・自分の足跡(キャリア)を見つめ、“もっと”いきいきと働くために、これからのキャリアを考える。	看護キャリア支援室	9
	セルフマネジメント研修	10月31日	・メンタルヘルスの不調を予防するための基礎的な知識を得ることができる	看護キャリア支援室	4
	中堅看護師ブラッシュアップ研修②	1月12日	・自分の足跡(キャリア)を見つめ、“もっと”いきいきと働くために、これからのキャリアを考える。	看護キャリア支援室	8
ラダーI・II・III・IV・マネジメントラダーレベル	身体拘束ゼロ研修	10月20日 10月27日 11月10日	身体拘束廃止の意識を高めることができる	継続教育委員会	81
	看護研究研修① 研究倫理・看護研究支援	5月29日	・研究倫理が説明できる ・看護研究を行うための当院のルール(要件、倫理審査等)が説明できる ・看護研究支援が説明できる	教育担当副看護部長	14
	看護研究研修② リサーチクエスト	7月19日	・リサーチクエストを考慮することができる	看護キャリア支援室	17
	看護研究研修③ 文献検索	10月23日 10月30日	・データベースを使って文献検索ができる ・文献の入手方法が理解できる	看護キャリア支援室	9
	看護研究研修④ 文献の見方	11月7日	・文献の違いがわかり、看護研究での活用方法がわかる ・文献のクリティークができる	看護キャリア支援室	9
	看護研究研修⑤ 研究の進め方	12月15日	・研究開始までの流れ(研究準備、研究計画書作成等、倫理申請・審査)がわかる	臨床研究センター 看護キャリア支援室	48
	看護研究研修⑥ 抄録の書き方	1月19日	・看護研究の基礎的手法を習得し、臨床での看護研究に役立てる	臨床研究センター 看護キャリア支援室	18
復帰支援スクール①	最近の看護の動向	6月6日 6月7日	不安を解消し、安心して職場に復帰できる	看護部長	1
	医療安全と最近のインシデント傾向			安全管理部看護師長	1
	感染対策の最新情報			感染制御教育センター看護師長	1
	カムバックナースミーティング			看護キャリア支援室	1
	電子カルテシステム研修患者参画型看護計画立案(基礎編)			医療情報部看護師長、副看護師長	4
	看護技術・採血			看護キャリア支援室	2
	看護技術・翼状針、留置針			看護キャリア支援室	2
	看護技術・ME機器(輸液ポンプ、シリンジポンプ)			看護キャリア支援室	2
	看護技術・吸引			看護キャリア支援室	2
	看護技術・膀胱内留置カテーテル			看護キャリア支援室	2
看護技術・BLS	看護キャリア支援室	2			

2023年度 継続教育プログラム

研修会名	開催日	テーマ	講師、担当者	院内参加者数(名)
復帰支援スクール②		不安を解消し、安心して職場に復帰できる	看護部 看護部長	3
	最近の看護の動向		安全管理部看護師長	3
	医療安全と最近のインシデント傾向		感染制御教育センター看護師	3
	感染対策の最新情報		看護キャリア支援室	5
	カムバックナースミーティング		医療情報部副看護師長	1
	電子カルテシステム研修患者参画型看護計画立案(基礎編)		看護キャリア支援室	4
	看護技術・採血			4
	看護技術・翼状針、留置針			4
	看護技術・ME機器(輸液ポンプ、シリンジポンプ)			1
	看護技術・吸引			1
	看護技術・膀胱内留置カテーテル			1
看護技術・BLS				
復帰支援スクール③		不安を解消し、安心して職場に復帰できる	看護部 看護部長	5
	最近の看護の動向		安全管理部看護師長	5
	医療安全と最近のインシデント傾向		感染制御教育センター看護師長	5
	感染対策の最新情報		看護キャリア支援室	5
	カムバックナースミーティング		医療情報部副看護師長	5
	電子カルテシステム研修患者参画型看護計画立案(基礎編)		看護キャリア支援室	7
	看護技術・採血			7
	看護技術・翼状針、留置針			6
	看護技術・ME機器(輸液ポンプ、シリンジポンプ)			6
	看護技術・吸引			6
	看護技術・膀胱内留置カテーテル			6
看護技術・BLS		5		
新採用者			5431	
ラダーⅠ研修			239	
ラダーⅡ研修			324	
ラダーⅢ研修			21	
ラダーⅠ～ラダーⅣ・マネジメントラダー			115	
復帰者研修			112	

2023年度 継続教育プログラム

研修会名	開催日	目的	研修責任者	院内参加者数(名)	
ラダーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・マネジメントラダー	放射線療法の基礎知識を学ぼう	11月21日	放射線療法看護の基礎知識を学び、院内の治療の流れを知る。	伊藤陽子	6
	周術期看護	7月6日	周術期における看護の役割を理解する	田中栄一	8
	在宅看護	6月21日	在宅看護における病院看護師としての役割を認識し、在宅療養支援を実践できる能力を身につける	川本裕美	6
		7月19日			6
		8月16日			4
		9月20日			4
		10月18日			4
		11月15日			4
	認知症看護	6月10日	講義や演習を通して認知症ケアについて考える力、行動する力を身につけることができる	井手みのり	2
		7月8日			3
		8月22日			2
		9月26日			2
		10月17日			2
		11月28日			2
	緩和ケア	6月23日	緩和ケアに必要な基本的知識、支援の方法について学び実践できる	永石恵美	4
		7月28日			4
		8月18日			4
		9月22日			4
		10月27日			4
		11月24日			5
		12月22日			4
	看護倫理	6月8日	看護倫理の基盤となる知識を学び、倫理的看護実践に取り組むことができる	井手みのり	8
		7月6日			8
		8月10日			6
9月7日		6			
11月9日		6			
ストーマケア成人Basic	6月14日	ストーマ造設患者の入院から退院後の生活状況を含めて、基本的なストーマケアを習得して、自部署で実践できる。	戸北正和	14	
	7月20日			14	
	8月16日			12	
	9月15日			14	
	10月11日			14	
褥瘡対策	オンデマンド*	褥瘡対策を日々業務のなかで実施することができ、スタッフへ指導することができる	田島純子	9	
	オンデマンド*			9	
	オンデマンド*			9	
	オンデマンド*			9	
	オンデマンド*			9	
	8月23日			9	
	9月27日			9	
糖尿病ケア	6月15日	糖尿病の病態・治療・看護の基礎を学び、糖尿病患者の理解を深め、看護展開できる	富永玲子	4	
	7月20日			4	
	8月17日			4	
	9月21日			4	
	11月16日			4	
	12月21日			4	
がん化学療法看護	11月18日	がん化学療法の基本的知識を理解し、看護実践に活かすことができる	土屋暁美	13	
移植医療と移植コーディネーター	6月6日	移植医療と移植コーディネーターに関する基本的な知識を取得する	辻あゆみ	8	
	7月4日			8	
	8月1日			9	
	9月5日			5	
	10月3日			7	
	11月7日			5	
治験と看護師の役割	6月15日	患者さんが参加する治験への知識と実践内容への理解を深め、看護へ活かすことができる	小橋川智美	1	
	7月20日			1	
	9月21日			1	
	10月19日			1	
	11月16日			1	

2023年度 継続教育プログラム

研修会名	開催日	目的	研修責任者	院内参加者数(名)
災害看護	6月23日	災害医療・看護を理解し、医療者として必要な知識とスキルを習得できる	田中由香	3
	7月21日			3
	8月31日			3
	9月22日			3
	10月27日			3
原子力災害医療における看護	10月28日	原子力災害時の病院内での対応について理解でき、汚染拡大や放射線防護に留意し、被ばく・汚染傷病者に対する看護を実践できる	柴田久美	2
急変対応 【expert】	6月15日	根拠を持った急変対応を説明できる	宮田佳之	2
	7月20日			2
	8月17日			2
	9月21日			2
	10月19日			2
	11月16日			2
	12月21日			2
シミュレーション教育 指導者育成	6月20日	シミュレーション教育手法について理解し、その指導に必要な知識・技術・態度を習得する	江川 徹	4
	7月18日			4
	9月19日			4
	10月17日			4
	11月21日			4
研修の設計力を高めよう！	6月16日	一人ひとりの目標に合わせた教育支援を行う為に、指導計画の立案方法を習得する	三浦 哲	3
	7月14日			3
	8月18日			3
	10月20日			3
	11月17日			3

2023年度 看護補助者研修会

研修会名	内容	日程	対象者	参加者
看護補助者基礎研修会	医療体制の概要及び病院の機能と組織の理解	2023年9月13日（水） 13：00～14：30	2023年度入職者を除く看護補助者全員 （必須研修）	計48名
	医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助者業務の理解			
	看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術	2023年10月3日（火） 13：00～14：30		
	日常生活にかかわる業務			
	守秘義務、個人情報保護の基礎知識	* 両日とも同じ内容		
	看護補助業務における感染防止策			
医療安全の基礎知識				
夜間看護補助者基礎研修会	医療体制の概要及び病院の機能と組織の理解	2024年2月8日（木） 16：00～17：30	夜間看護補助者全員 （退職予定者1名除く）	24名
	医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助者業務の理解			
	看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術			
	日常生活にかかわる業務			
	守秘義務、個人情報保護の基礎知識			
	看護補助業務における感染防止策			
看護補助者任意研修会	ハラスメント防止（グループワーク含む）	2023年11月20日（月） 13：30～14：30	看護補助者希望者 * 12月4日は夜間看護補助者対象	計56名 （うち夜間看護補助者22名）
		2023年11月21日（火） 13：00～14：00		
		2023年12月4日（月） 16：00～17：00		
		* 3日間とも同じ内容		
看護補助者任意研修会	移乗、移送介助（演習含む）	2024年1月30日 13：30～14：30	看護補助者希望者	9名
夜間看護補助者研修会	患者の見守り（グループワーク含む）	2023年4月24日（月） 16：00～17：00	夜間看護補助者 2023年2月採用者	22名
	義歯洗浄（演習含む）	2023年6月8日（木） 16：00～16：30 2023年6月19日（月） 16：30～17：00 * 両日とも同じ内容	夜間看護補助者 2023年2月採用者	計20名
	食事介助	2023年6月22日（木） 16：00～17：00	夜間看護補助者 2023年2月採用者	19名
中途採用 夜間看護補助者 オリエンテーション	看護補助業務を遂行するための医療安全に関すること	2023年4月17日（月） 2023年5月1日（月）	中途採用 夜間看護補助者	計16名
	看護補助業務を遂行するための感染防止に関すること	2023年6月12日（月） 2023年7月3日（月） 2023年7月10日（月）		
	守秘義務・個人情報保護の基礎知識	2023年8月7日（月） 2023年8月23日（水） 2023年8月24日（木）		
	看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術	2023年9月1日（金） 2023年11月21日（火） 2023年12月1日（金）		
	勤務管理 他	2024年2月5日（月） 2024年2月13日（火）		
	感染防止の演習（手指消毒、手袋・エプロンの着脱）	2024年3月11日（月） 全て16：00～23：00		
	患者移送 歩行付き添い、車椅子移送、ストレッチャー移送（演習含む）	2023年5月11日（木） 2023年6月28日（水） 2023年8月30日（水） 2023年10月16日（月） 2024年1月31日（水） 2024年3月22日（金） 全て16：00～17：00		
患者の見守り（グループワーク含む）	2023年7月11日（火） 2023年10月5日（木） 2023年12月6日（水） 全て16：00～17：00	中途採用 夜間看護補助者	計11名	
義歯洗浄（演習含む）	2023年12月12日（火） 16：30～17：00	中途採用 夜間看護補助者	計9名	
食事介助	2023年9月21日（木） 2023年11月28日（火） 2024年1月30日（火） 2024年3月15日（金） 全て16：00～17：00	中途採用 夜間看護補助者	計11名	

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 尾崎 誠	
管理担当者氏名	放射線部長 東家 亮 感染制御教育センター 泉川 公一 総務課長 池野 静香 医事課長 溝口 明邦	薬剤部長 大山 要 ME機器センター長 原 哲也 医療支援課長 柳川 順平

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	※
		看護記録	※
		検査所見記録	※
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	※
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	※	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課・医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療支援課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療支援課 感染制御教育センター
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課 感染制御教育センター
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課 感染制御教育センター
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課 感染制御教育センター
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター	

施錠可能な部屋にある
キャビネット内に書面にて保管。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療支援課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療支援課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療支援課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療支援課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 薬剤部 ME機器センター
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 近藤 政美
閲覧担当者氏名	総務課長 池野 静香
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要 長崎大学広報戦略本部において「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きを行っている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全管理に関する基本的考え方 ○医療安全管理委員会及びその他の組織に関する基本的事項 ○医療安全管理のための職員研修に関する基本的方針 ○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方針に関する基本方針 ○医療事故発生時の対応に関する基本方針 ○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 ○患者等からの相談への対応に関する基本方針 ○その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全管理委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催状況：年12回（月1回） ○リスクマネージャー会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催状況：年12回（月1回） <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全に関する対策の推進 ○医事紛争及び医療事故等、問題発生した場合の調査及び分析 ○医療安全のための教育及び研修 ○医療安全のためのマニュアル作成等 ○医療安全に関する情報収集 ○医薬品医療機器等安全管理専門委員会における審議内容に関すること 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>【令和5年度第1回医療安全研修会】7/6開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「6R-6つのRightとは-」 安全管理部 張岳輝子副看護師長 ②「インシデントレポートの書き方と報告体制」 安全管理部 看護師GRM 江副智美 ③「誤薬防止について-医療用麻薬を中心に-」 安全管理部 薬剤師GRM 橋詰淳哉 <p>【令和5年度第2回医療安全研修会】10/6開催 「コンフリクト・マネジメントと医療メディエーション」 国立病院機構長崎川棚医療センター名誉院長 日本医療メディエーター協会理事 九州支部代表 宮下光世先生</p> <p>【令和5年度第3回医療安全研修会】12/25開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「ベッドサイドで危機的出血に遭遇した場合の初期対応」 細胞療法部 副部長 糸永英弘先生 ②「院内迅速対応チーム（RRT）を有効活用するために～院内の体制とコールの基準」 集中治療部 准教授 関野元裕先生 ③「院内迅速対応チーム（RRT）の活動報告」 集中治療部（看護師）江川徹看護師 	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 医療安全管理マニュアルの改訂
 - 医薬品安全管理手順書の改訂
 - インシデントレポート報告システムの改良
 - 医療安全ポケットマニュアルの改訂
 - 安全管理部員等による院内巡視
 - 安全管理部コア会議（週1回実施）

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1)院内感染対策委員会の設置、2)職員研修の実施、3)病院感染発生時の対応、4)院内感染対策マニュアルの策定、5)院内感染防止に関する患者への情報提供と説明、6)その他の病院における院内感染対策の推進 以上について明記。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(構成員) 委員長：病院長、感染制御教育センター長（院内感染管理者）、他委員数12名、計14名全員の出席をもって開催される。</p> <p>(開催回数内訳) ○定例開催（毎月1回（8月及び1月は休会））10回※1月は能登半島地震対応のため休会 ○COVID-19災害対策本部運営委員会「院内感染対策委員会・病院運営会議合同会議」（4/3開催）1回</p> <p>(検討事項) ○耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、ICTラウンド、COVID-19感染状況等の報告及び院内における感染症の予防及び発生対策等に関する事項の審議を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>1. 令和5年度第1回院内感染対策・抗菌薬適正使用合同講習会 I. 当院感染制御教育センター 柿内聡志先生 『2022年度の院内感染対策データの振り返りと今後の課題』 II. 当院感染制御教育センター 薬剤師 森塚暁裕先生 『抗菌薬の供給制限について/VCMの血中濃度管理について』</p> <p>2. 令和5年度第2回院内感染対策・抗菌薬適正使用合同講習会 広島大学病院 感染症科 大毛宏喜先生 『手術部位感染対策の重要性』</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有) 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。新型コロナウイルス感染症を含む伝染性疾患に関する塗抹情報や抗原検出状況はリアルタイムに報告がある。以上のうち、院内感染対策上重要な微生物が検出された場合はその都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導している。それらは記録として保存している。 また、週に1回は病棟、外来、中央診療棟などを多職種からなるICTチームでラウンドし、感染対策の現状の把握とon the job trainingを実践している。 また、広域抗菌薬・抗真菌薬使用患者を土曜、休日以外の連日、ピックアップし、薬剤師を中心に医師・看護師・検査技師を交えたASTチームでカンファレンスを行い、主治医にカルテ上でのコメントを通じて抗制薬適正使用支援（ASP）活動を行っている。なお、本活動の一環として、連日、微生物検査室からの報告を用いて血液培養ラウンドを行い、感染症診療支援、抗菌薬適正使用支援を行っている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>令和5年度 第1回 医療安全研修会 「誤薬防止について 一医療用麻薬を中心に」講師：橋詰淳哉 薬剤師 実施日：2023年7月6日、集合研修+イントラネット動画研修、 受講人数：研修会 264人、イントラネット動画研修 2243人 計 2507人 (99.7%)</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 (購入～薬剤部内の管理) (改訂あり) 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 (改訂あり) 4. 患者に対する服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い 6. 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理 (改訂あり) 7. 他施設 (病院等、薬局等) との連携に関する事項 8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等 9. 薬剤投与のための機器使用 10. 放射性医薬品の管理 11. 臨床検査薬の管理 12. 造影剤の管理、使用 13. 血液浄化療法部門 14. 外来化学療法部門 15. 院内製剤の取り扱いについて (改訂あり) 16. 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について 17. 当該手順書の順守状況の確認 <p>実施状況：年1回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>【収集方法】 未承認等の医薬品の使用情報について、病棟薬剤管理指導業務、調剤時の疑義照会、院内製剤を担当する製剤室での問い合わせ対応等で収集し、未承認新規医薬品に関しては担当部署である医薬品医療機器等安全管理専門委員会 (以下、薬機専) で把握している。その他の適応外使用・禁忌薬等については、薬剤部において、薬剤交付時の鑑査や入院患者に対する病棟薬剤業務において把握したものを記録している他、診療科からの申請・報告により薬機専でも把握している。医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。</p>	

【周知方法】

未承認新規医薬品に関しては薬機専の委員長が医療安全管理委員会で報告する。その他の適応外使用・禁忌薬等に関しても、把握した件数を医療安全管理委員会へ報告し、院内へ周知している。また、上記委員会で承認された未承認新規医薬品等は薬剤部内のイントラネットに掲載し、情報を共有・周知している。上記で収集された適応外・禁忌薬の情報はプレイアボイド事例としてまとめ、医療安全管理委員会で院内に周知している。また、プレイアボイド事例の中から抽出した事例をもとに医薬品適正使用情報を作成しRM会議で周知している。

採用薬に関して改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。なお、特に重要なものは病棟担当薬剤師のカンファで情報提供する場を設けている。また、病棟、診療科（診療科長、医局長）、中央診療部（部長、副部長等）に対しては、緊急安全性情報、安全性速報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI news等を用いて情報発信を行っている。緊急安全性情報、安全性速報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、面談による文書交付にて周知を図っている。

また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム（DICS）には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																																																																																										
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6 3 回																																																																																										
<p>・ 研修の主な内容： 新しい医療機器の導入時の研修 特定機能病院における定期研修</p> <p>有効性・安全性に関する事項 使用方法に関する事項 保守点検に関する事項 不具合が発生した場合の対応に関する事項 使用に関して特に法令上遵守すべき事項など</p>																																																																																											
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																																																																											
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <table border="0"> <tr><td>人工呼吸器</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>輸液ポンプ</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>シリンジポンプ</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>経腸栄養ポンプ</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>除細動器</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>閉鎖式保育器</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>人工心肺装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>IABP</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>経皮的補助循環装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>フットポンプ</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>体外式ペースメーカー</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>補助人工心臓駆動装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>麻酔器</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>電気手術器</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>内視鏡</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>内視鏡装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>直線加速装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>診療用放射線照射装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>放射線関連装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>CT装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>MRI装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>心電計</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>脳波計</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>超音波診断装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>AED</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>血液浄化装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>透析液作製関連装置</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>手術支援ロボットシステム</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>超音波手術器</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> <tr><td>歯科関連機器</td><td>:</td><td>外観点検、性能・機能点検など</td></tr> </table>		人工呼吸器	:	外観点検、性能・機能点検など	輸液ポンプ	:	外観点検、性能・機能点検など	シリンジポンプ	:	外観点検、性能・機能点検など	経腸栄養ポンプ	:	外観点検、性能・機能点検など	除細動器	:	外観点検、性能・機能点検など	閉鎖式保育器	:	外観点検、性能・機能点検など	人工心肺装置	:	外観点検、性能・機能点検など	IABP	:	外観点検、性能・機能点検など	経皮的補助循環装置	:	外観点検、性能・機能点検など	フットポンプ	:	外観点検、性能・機能点検など	体外式ペースメーカー	:	外観点検、性能・機能点検など	補助人工心臓駆動装置	:	外観点検、性能・機能点検など	麻酔器	:	外観点検、性能・機能点検など	電気手術器	:	外観点検、性能・機能点検など	内視鏡	:	外観点検、性能・機能点検など	内視鏡装置	:	外観点検、性能・機能点検など	直線加速装置	:	外観点検、性能・機能点検など	診療用放射線照射装置	:	外観点検、性能・機能点検など	放射線関連装置	:	外観点検、性能・機能点検など	CT装置	:	外観点検、性能・機能点検など	MRI装置	:	外観点検、性能・機能点検など	心電計	:	外観点検、性能・機能点検など	脳波計	:	外観点検、性能・機能点検など	超音波診断装置	:	外観点検、性能・機能点検など	AED	:	外観点検、性能・機能点検など	血液浄化装置	:	外観点検、性能・機能点検など	透析液作製関連装置	:	外観点検、性能・機能点検など	手術支援ロボットシステム	:	外観点検、性能・機能点検など	超音波手術器	:	外観点検、性能・機能点検など	歯科関連機器	:	外観点検、性能・機能点検など
人工呼吸器	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
輸液ポンプ	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
シリンジポンプ	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
経腸栄養ポンプ	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
除細動器	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
閉鎖式保育器	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
人工心肺装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
IABP	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
経皮的補助循環装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
フットポンプ	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
体外式ペースメーカー	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
補助人工心臓駆動装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
麻酔器	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
電気手術器	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
内視鏡	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
内視鏡装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
直線加速装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
診療用放射線照射装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
放射線関連装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
CT装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
MRI装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
心電計	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
脳波計	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
超音波診断装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
AED	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
血液浄化装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
透析液作製関連装置	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
手術支援ロボットシステム	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
超音波手術器	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									
歯科関連機器	:	外観点検、性能・機能点検など																																																																																									

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無)

・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：

ヘパリン使用中心循環系ステントグラフト(採用品名：ゴア バイアバーン ステントグラフト)
を使用目的及び効果違いとして、動脈瘤への血流遮断に使用。

・ その他の改善のための方策の主な内容：

日本医療機能評価機構やPMDA、製造販売企業などからの情報を収集し、医療安全管理委員会や安全管理部、リスクマネージャー会議へ報告すると共に、RMニュースとして各リスクマネージャーへメールで配信し、リスクマネージャーから所属スタッフへ周知を行っている。
機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能なシステムを構築している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>安全担当の副病院長は、医療安全管理責任者として、医療安全管理部門である安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を管理し、病院長のものと医療安全に資する対策の指示と確認を行っている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(13名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>① 医薬品情報資料の収集、整理、保管及び情報の加工と専門的評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) インターネットを利用した情報収集 2) 学術雑誌等よりの情報収集 3) 製薬会社の医薬情報担当者 (MR ; medical representatives) よりの情報収集 4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者による情報収集 5) 資料の整理・保管・管理 6) 書籍・雑誌等の購入 7) 添付文書改訂等に対応したオーダマスタ更新 8) 院内副作用情報 (PMDA 報告) の重篤度およびリスクの評価 <p>② 医薬品に関する情報の伝達</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品集の作製、改訂 2) 全診療科・病棟・中央診療部への定期的な情報伝達 3) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者への情報提供 4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者との情報共有 5) 他の病院薬局への情報提供 6) 院内副作用情報 (PMDA 報告) の伝達 (医療安全管理委員会ならびに診療科長等会議) <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認新規医薬品に関しては、医薬品安全管理責任者が委員長を務める医薬品医療機器等安全管理専門委員会 (以下、薬機専) において、未承認新規医薬品等評価委員会の意見を参考に申出の受付と使用</p>	

の可否等を決定する業務を担当している。

その他の未承認等の医薬品の使用状況については薬剤部による使用状況の把握と必要に応じた提案等の業務を行わせている他、薬機専でも把握している。

・ 担当者の指名の有無 (有) 無

・ 担当者の所属・職種：

- (所属：薬剤部, 職種 薬剤部長) (所属：麻酔科, 職種 教授)
- (所属：安全管理部, 職種 安全管理部長) (所属：リウマチ・膠原病内科, 職種 教授)
- (所属：循環器内科, 職種 教授) (所属：移植・消化器外科, 職種 教授)
- (所属：皮膚科・アレルギー科, 職種 教授) (所属：麻酔・生体管理科, 職種 教授)
- (所属：感染制御教育センター, 職種 教授) (所属：看護部, 職種 看護部長)
- (所属：薬剤部, 職種 副薬剤部長) (所属：事務部, 職種 事務部長)
- (所属：ME機器センター, 職種 副センター長) (所属：小児科, 職種 教授)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

(有) 無

・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) 無

・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

説明に関する責任者は、診療情報管理室長が担当し、説明に関するガイドラインを作成し、診療録管理を担当する委員会である診療録管理委員会にて、診療録の監査で説明と同意に関する監査項目を確認し、診療部門へフィードバックしている。また、説明・同意において、医師以外の職種の同席基準を定め、説明内容の記載についても説明に関するガイドラインに沿った形でインフォームド・コンセント記録テンプレートを作成し運用している。テンプレートに入力されたデータを評価・分析している。指導内容について、診療録管理委員会および診療科長等会議で報告している。また、説明に関するガイドラインについて、見直しを行った。(令和6年6月に改定)

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

(有) 無

・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

- 診療録及び退院時要約の記載内容について監査を行い、結果を該当診療科へ通知・指導している。指導内容について、診療録管理委員会及び診療科長等会議で報告している。
- 規程に基づき診療録を管理し、結果を診療録管理委員会で報告している。
- 外部講師を招き、全職員向けに診療録の記載に関する講演会を開催した。また、当日講演会に参加で

きなかった職員のために e-learning で受講可能にした。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

- ・所属職員：専従（ 5 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ 11 ）名
うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ 4 ）名
うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 3 ）名
うち看護師：専従（ 2 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 2 ）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- 医療安全管理マニュアルの改訂
- 安全管理部部員等による院内巡視
- インシデントレポートの分析
- 死亡事例の把握・検証
- 安全管理部コア会議（週1回実施）
- 医療安全研修会について、e-ラーニングにおいてテストを実施し、点数によって評価している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 1 件）、及び許可件数（ 1 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）

・活動の主な内容：

- 高難度新規医療技術評価部及び高難度新規医療技術評価委員会を設置する。
- 高難度新規医療技術評価委員会での審議結果を元に当該医療技術実施の可否について判定する。
- 有害事象が発生した時の当該医療技術の変更、中止、その他当該医療技術に関し必要な事項を決定する。
- 当該医療技術を適用する全症例について、診療科長から、実施前の連絡書、実施直後、実施1月後、6月後の報告書を提出させる。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）

- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 89 件）、及び許可件数（ 88 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・活動の主な内容：
 - 未承認新規医薬品等を用いた医療、適応外等使用を伴う医療を提供する場合の使用条件、院内製剤を用いた医療を提供する場合の使用条件、使用の適否等の審査
 - 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の改訂
 - 医薬品医療機器等の安全使用のため必要となる情報の収集
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 293 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 59 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - 医療安全管理マニュアルの改訂
 - 安全管理部部員等による院内巡視
 - インシデントレポートの分析
 - 死亡事例の把握・検証
 - 安全管理部コア会議（週1回実施）

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：神戸大学医学部附属病院） ・ 無 ）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：名古屋市立大学） ・ 無 ）
- ・技術的助言の実施状況
特に指摘事項はなかった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談室を設置し、患者家族等からの医学的な質問、医療安全に係る相談等、様々な相談を患者相談窓口にて一元的に対応し、必要に応じて、助言、情報提供等を行いながら患者家族等を支援している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

令和5年度第1回医療安全研修会：7/6開催

①「6R-6つのRightとは-」

安全管理部 張岳輝子副看護師長

②「インシデントレポートの書き方と報告体制」

安全管理部 看護師 GRM 江副智美

③「誤薬防止について-医療用麻薬を中心に-」

安全管理部 薬剤師 GRM 橋詰淳哉

令和5年度第2回医療安全研修会：10/6開催

「コンフリクト・マネジメントと医療メディエーション」

国立病院機構長崎川棚医療センター名誉院長

日本医療メディエーター協会理事 九州支部代表 宮下光世先生

令和5年度第3回医療安全研修会：12/25開催

①「ベッドサイドで危機的出血に遭遇した場合の初期対応」

細胞療法部 副部長 糸永英弘先生

②「院内迅速対応チーム（RRT）を有効活用するために～院内の体制とコールの基準」

集中治療部 准教授 関野元裕先生

③「院内迅速対応チーム（RRT）の活動報告」

集中治療部（看護師） 江川徹看護師

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、全員が公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する2023年度特定機能病院管理者研修を受講した。

○受講日

管理者（中尾 一彦）：2023年11月20日

医療安全管理責任者（江口 晋）：2024年2月6日

医薬品安全管理責任者（大山 要）：2023年12月14日

医療機器安全管理責任者（原 哲也）2023年12月4日

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人 日本医療機能評価機構「病院機能評価：一般病院3」（認定留保）2024年8月

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

審査結果報告書、確認審査結果報告書を病院ホームページに掲載

・評価を踏まえ講じた措置

以下の取り組みを継続的に実施し改善に努めている

- ・ICにかかる説明・同意文書への記載基準の統一化

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準の主な内容 <p>【長崎大学病院長選考規程より抜粋】</p> <p>第3条 病院長となることのできる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。</p> <p>(1) 医療法（昭和23年法律第205号）第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者</p> <p>(2) 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者</p> <p>(3) 組織管理能力等の長崎大学病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有する者</p> 基準に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） 公表の方法 <p>病院ホームページにて公表している。</p>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） 公表の方法 <p>長崎大学病院ホームページへの掲載</p> 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
伊東 昌子	長崎大学理事	○	長崎大学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有・無
西田 教行	長崎大学理事		長崎大学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有・無
池松 和哉	長崎大学医学部長		役職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
村田 比呂司	長崎大学歯学部長		役職指定	<input checked="" type="radio"/> 有・無
迎 寛	長崎大学病院副病院長		長崎大学病院運営会議選出委員	<input checked="" type="radio"/> 有・無
森崎 正幸	長崎県医師会長		学外有識者	有 <input checked="" type="radio"/> 無

渋谷 昌史	長崎県歯科医師会長		学外有識者	有 <input checked="" type="radio"/> 無
新田 惇一	長崎県福祉保健部長		学外有識者	有 <input checked="" type="radio"/> 無
西田 孝洋	長崎大学薬学部長		長崎大学長が必要と認めた者	<input checked="" type="radio"/> 有 無
澤井 照光	長崎大学医学部保健学 科長		長崎大学長が必要と認めた者	<input checked="" type="radio"/> 有 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
<p>・ 合議体の主要な審議内容 【長崎大学病院運営会議規程より抜粋】 第2条 運営会議は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営・運営方針に関すること。 (2) 中期目標・中期計画に関すること。 (3) 教育・研究活動に関すること。 (4) 規程等の制定及び改廃に関すること。 (5) 教育研究組織に関する事項 (6) 予算及び決算に関する事項 (7) 教員の採用及び昇任に関する事項 (8) 教員の再任に関する事項 (9) その他病院の管理運営に関する重要な事項 <p>・ 審議の概要の従業者への周知状況 院内ホームページ（イントラネット）に、病院運営会議の議事要旨を掲載している。 また、診療科長等会議で病院運営会議の概要報告を行うとともに、事務部においては、課内連絡会で議題内容の報告をするなどして情報共有を行っている。</p> <p>・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ）</p> <p>・ 公表の方法 病院ホームページにて公表している。</p> <p>・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
尾崎 誠	○	医師	病院長 執行役員
西野 友哉		医師	副病院長「総務」

室田 浩之		医師	副病院長「安全」
辻野 彰		医師	副病院長「診療」
原 哲也		医師	副病院長「経営」
三浦 清徳		医師	副病院長「研究・教育」
鵜飼 孝		歯科医師	副病院長「歯科統括」
小淵 美樹子		看護師	副病院長「看護統括」
近藤 政美		事務職員	副病院長「事務統括」
浜田 久之		医師	病院長補佐「教育・広報」
山本 弘史		薬剤師	病院長補佐「研究」
松本 桂太郎		医師	病院長補佐「国際」
栗原 慎太郎		医師	病院長補佐「安全」
池田 聡司		医師	病院長補佐「施設」
山下 利佳		歯科医師	病院長補佐「福利厚生」
松本 武浩		医師	病院長補佐「医療情報」
田浦 直太		医師	病院長補佐「総合患者支援」
泉川 公一		医師	病院長補佐「感染対策」
田崎 修		医師	高度救命救急センター長
大山 要		薬剤師	薬剤部長
福田 徹		診療放射線技師	医療技術部長
永岡 亜也子		外部有識者	病院顧問（弁護士法人ふくざき法律事務所）

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法
大学ホームページにて公表
- ・ 規程の主な内容
【長崎大学病院規則より抜粋】
(病院長)
第3条 本院に、病院長を置く。
2 病院長は、病院の管理運営をつかさどり、所属職員を統括する。

【長崎大学会計規則より抜粋】
(予算責任者)
第10条 予算管理単位に予算責任者を置き、部局長をもって充てる。
なお、人事権について、「副病院長等の選考に関する申合せ」により、各種メディカルスタッフの選考基準が定められており、病院長が指名することとなっている。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
病院長の職務を補佐する者として副病院長を、病院長の職務のうち特定事項の職務を補佐する者として病院長補佐を置いているほか、病院長の諮問に応じ意見を具申する役割として、病院顧問を置いている。また、本院の管理運営に関し、病院長に助言等を行う者として病院長特別補佐を置くことができることとしている。

さらに、病院長の諮問機関として、運営戦略部及び外部有識者（経営戦略アドバイザー）を含む経営戦略部を設置し、多職種からなるメンバーで会議を行い、企画立案を行っている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
(人事)
副病院長の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長（各センター長、機構長及び各室長を含む。）、薬剤部長、看護部長及び事務部長のうちから病院長が推薦し学長が選考するもの、病院長補佐の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長（各センター長、機構長及び各室長を含む。）及び薬剤部長のうちから病院長が指名するものとしている。
(研修)
全国病院長会議等が主催する分野別、職階別の各種研修会に執行部職員を積極的に参加させている。また、日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修にも毎年対象者を参加させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>【長崎大学病院医療安全監査委員会規程より抜粋】</p> <p>第2条 委員会は、次に掲げる業務を行う。</p> <p>(1) 医療安全管理に関する責任者、医薬品安全管理に関する責任者、医療機器安全管理に関する責任者、安全管理部及び医療安全管理委員会が行う業務の状況について病院長から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>(2) 必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p style="padding-left: 20px;">病院ホームページにて公表している</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
吉村 麻里子	佐賀大学医学部附属病院 医療安全管理室 特任教授	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
川添 志	山下・川添総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
飯田 由紀子			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有 (無)	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体制の整備状況及び活動内容 <p style="margin-left: 20px;">学外の弁護士に病院顧問を委嘱し、必要に応じて、本院運営に係る法的な助言を得ている。また、病院運営会議（原則毎週開催）に学長指名の副学長及び学外者（弁護士）が構成員として出席している。さらに、役員会や経営協議会（外部委員を含む）において、病院の決算状況等の審議がなされており、毎年監事監査を受審している</p> ・ 専門部署の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） ・ 内部規程の整備の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） ・ 内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法 <p style="margin-left: 20px;">大学ホームページにて公表している。</p>

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p style="margin-left: 20px;">役員会及び経営協議会で病院決算状況等について審議を行っていること、並びに、毎年、監事監査を受審していることから、業務の監督体制は整備されている。</p> ・ 会議体の実施状況 <p style="margin-left: 20px;">（令和5年度）役員会 年 14回 経営協議会 年 8回（うち、書面会議4回）</p> ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） <p style="margin-left: 20px;">（令和5年度）経営協議会 年 8回（うち、書面会議4回）</p> ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法 <p style="margin-left: 20px;">大学ホームページにて公表している。</p>
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：
会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 通報件数 (年 0 件) ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 周知の方法 <ul style="list-style-type: none"> ○学内に向けて定期的に周知を行っている。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有 無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>地域住民や患者さんの医療機関の選択に資するため、病院ホームページで各診療科の特徴や対象とする疾患について情報提供している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有 無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>○複数診療科の医師及び多職種 of 医療スタッフを構成員としたチーム（褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、糖尿病サポートケアチーム、栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、呼吸ケアチーム、精神科リエゾンチーム、退院支援チーム、救急サポートチーム等）を設置し、チーム医療を実践している。</p> <p>○口腔管理センターを設置し、術後の周術口腔ケアだけでなく、保存・補綴も含め、必要な歯科医療すべてを扱い、医科歯科連携医療を推進している。</p>	